２．１の最後のページがここにくる

2.2 人文社会科学全般の情報を探す

ここから人文社会科学で共通の、基本的な情報・先行研究を探すための具体的なツールを紹介していきます。

2.2.1 基本的な情報を調べる

先行研究を探す前に目的の分野の基本情報を調べることが大切です。ここで言う基本情報とは学術的な用語の意味や人物名、一般的な知識のことです。これらを知っておくと、キーワードのみで先行研究を探すよりも、いっそう応用が利きます。キーワードを別の言葉に言い換えることや､関連する言葉を知ることができるので､そこから調査を広げていくことで、より多くの情報を得ることができるからです。

基本情報を知るためには、例えば、辞・事典、ハンドブックなどのツールがあります。百科事典、人名辞典、○○ハンドブックというようなタイトルのものです。主なツール例については『基本編』第７章で解説されているので、本書はそこで取り上げられなかったものを中心に紹介します。

(1) 複数のツールを参照する

当たり前のことですが、辞・事典、ハンドブックも他の図書と同様に人間によって書かれた著作物です。したがって図書や論文を読むときと同様に、辞・事典の記述を読むときにも、その情報の価値を見極めることが必要になります。

例えば、事項の記述の中に、その執筆者の思想が少なからず盛り込まれて、事項の集合体である辞・事典に個性が生じている場合があります。個性のある辞典として有名なのが『新明解国語辞典』（三省堂）です。

また事項の記述には時代の流れや歴史的な背景が反映されている場合があります。太平洋戦争での敗戦や高度経済成長期などの大きな転換期、そして人々の薄れていく記憶や関心事の変化が、辞・事典の記述にも反映される場合があるのです。

さらに記述が誤っている場合もあります。これは他の辞・事典の誤った記述をそのまま引用してしまう場合などに起こります。ちなみにある著書においてなされた引用記事をさらに引用することは「孫引き」と呼ばれ、研究発表の場においては認められない行為ですが、辞・事典における間違いの相続は、原資料に当たる手間を惜しんだ「孫引き」の弊害と言えるでしょう。

以上の点から、一つの基本的な情報を調べるときでも年代や種類の異なる複数の

辞・事典を参照することをおすすめします。また、複数の辞・事典を参照することで意外な発見をし、それが研究の手助けになることがあるかもしれません。

みみふくろ　辞・事典の記述の変化

戦前と戦後の百科事典の記述を比較してみると、例えば「教育勅語」について、明治 43 年（1910）の**『日本百科大辞典』（三省堂）**では、教育勅語の全文、成立の経緯、内容、解釈が記述されています。2 ページ超の記事分量は、ここで比較したどの辞・事典よりも多く、中でも記述の全体の半分以上を費やした解釈に目を引かれます。また、海外へのアピールを目的として作られた英訳版教育勅語が載っているのも独特です。

昭和 7 年（1932）の**『大百科事典』平凡社**では成立の経緯、内容の解説がされています。全文は内容解説文中に引用されています。他の事典と異なるのは、大正 4 年、昭和 3 年の教育に関する御沙汰書が掲載されている点です。

続いて、昭和 39 年（1964）に発刊された**『世界大百科事典』平凡社**では、全文を掲載せず、成立経緯と意見が混じり合った解説をしています。加えて、教育勅語の廃止と、その後の日本国憲法と昭和 22 年制定の旧教育基本法成立による変化を述べる中で「教育および研究における非合理主義は排せられ、創造的で科学的な学習も可能となるにいたった」という意見を掲出しています。その一方で、「教育勅語の影響は、しかしなお、教育界といわず、ひろく社会の諸方面に残っており」との記述に、当時の雰囲気を強く感じます。

昭和 59 年（1984）発刊の**『平凡社大百科事典』**では全文、成立経緯、内容、実施体制、体制のその後にわたる記述があります。全般に客観的な記述がなされ、成立に関わった人名も多くあげられており成立背景をより詳しく調べるための参考になるでしょう。

(2) 具体的なツール

① 全般的な情報を調べる

- **『世界大百科事典』　全 35 巻　平凡社**
  1988：本館 RC [UR1/20]・医分 [UR1/SE22S]・北分 [UR1/6]
  1998 CD-ROM：本館 RC [UR1/20]
  専門的な内容もわかりやすく解説されています。参考文献はありませんが、外国語欧文索引があり、カタカナ表記がわからないときに便利です。

- **『日本百科大辭典』　全 10 巻　三省堂書店　1919：本館書庫旧片平 [ID1/サ 1]**
  明治 41 年から大正 8 年にかけて作られた日本の百科事典の先駆です。現代では考えられないほどの各分野多彩なメンバーにより執筆されていることでも高名です。例えば幸田露伴・森鴎外・饗庭篁村・寺田寅彦などが執筆者に並ぶ中、奥村繁次郎という焼き芋屋さんが混じっているという調子です。現行事典との説明の違いを知りたいときや、明治・大正時代の日本の柔軟性を垣間見るという意味だけでも手に取る価値があります。1985 年に名著普及会により復刊されています。

- **『ブリタニカ国際大百科事典』　全 20 巻　TBS ブリタニカ**
  大項目 1995：本館 RC [UR1/05]・医分 [UR1/B92B]・工分 [030/3]
  小項目 2000　CD-ROM：医分 [UR1/B92B]・工分 [030/3]
  少ない項目数で体系的に解説されている「大項目事典」と、多くの項目数で簡潔に解説されている「小項目事典」の 2 本立ての百科事典です。

- **『日本国語大事典』　全 13 巻　第 2 版　小学館　2002：本館 RC [KF3/01]・医分 [KF3/N77N]**
  日本最大の国語事典です。日本語について調べるときに使います。項目数の多さもさることながら、その解説も詳しく、言葉の歴史、文学作品での引用例も記載されています。簡単に調べたいときなどには「詳しすぎて困る」との評があるほどです。

- **『JapanKnowledge』　ネットアドバンス**
  ＜http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/jk/＞　学内限定
  学内のパソコンからアクセスできるオンラインデータベースです。百科事典・用語事典・人名事典・国語辞典・英和辞典・和英辞典・英英辞典を横断的に検索することができます。さらに平凡社から刊行されている東洋文庫の本文をオンラインで読むことができます。なお、東洋文庫検索は、古代から近代に至る東洋の古典を含むこのシリーズ全体の本文を簡単に検索ができるので、それらを一々ひもとく手間が省けます。例えば日本近世期の百科事典『和漢三才図絵』や 20 冊に及ぶ大部な随筆『甲子夜話』などが含まれています。

- **『大漢和辞典』　全 13 巻　修正第 2 版　大修館書店　1990:本館 RC[KF4/01]・医分 [KF4/D21D]**
  親文字 5 万余字、熟語 53 万余語の漢和辞典として史上最大・世界一のものです。多くある漢和辞典の親文字数は 1 万ほどですから、その膨大さがわかります。そのため電子化は難しいといわれており、冊子体でなければ利用できないツールの一例でもあります。

- **『The Oxford English dictionary』　全 20 巻　第 2 版　Clarendon Press**
  1989：本館 RC [KS12/35]・工分 [833/4]
  1995　CD-ROM：本館 RC [KS12/272]
  見出し語 50 万語以上、引用句 250 万を収録しています。英語の移り変わりや、文化の流れが対比できる辞典です。言葉の用法の初出年が記載されているのも特徴です。現在では使われなくなった古い単語を多く含み、現代語を調べるのには不向きですが、古い英文を読む際や英語の歴史を調べる際に役立ちます。

② 人について調べる

- **『日本人名大事典』　復刻版　平凡社　1979：本館 RC [GB12/015]（現代編のみ）・北分 [GB12/3]・農分 [281/030]**
  昭和 53 年（1978）までに故人となった日本人を調べるときに便利です。肖像や典拠文献が付けられている場合もあります。昭和 12 年（1937）～昭和 16 年（1941）に刊行された『新撰大人名辞典』の復刻版です。

■ **『講談社日本人名大辞典』　講談社　2001：本館学閲［GB12/077］**
古代から現代の架空の人物をも含めた 6 万 5 千名の人名を収録しています。①で紹介した『JapanKnowledge』に収録されているので、学内パソコンからならオンライン版を利用することができます。

■ **『日本人物情報大系』　皓星社**
<http://www.libro-koseisha.co.jp/index.html>
近世から昭和にかけて刊行された人物に関する辞典、叢伝、列伝、人名録を網羅的に収録し、それらを一括検索できるようにしたことで、膨大なデータを持つ人名事典として使用することができます。冊子は東北大で所蔵していませんが、出版元である皓星社のウェブサイトの「人物情報（日本人）をさがす」というページでオンライン検索できるデータベースが無料公開されています。（平成 19 年 3 月現在作成中）

■ **『岩波西洋人名辞典』　増補版　岩波書店　1981：本館 RC［GG12/01］・医分［GG12/1951］　ほか**
古代から現代の外国人（東洋人・架空人物も含む）が収録されています。特に日本と関わりの深い人物を調べるときに便利です。主な著作や参考文献も含められています。氏名はカタカナで表記されており、欧文索引もあります。

■ **『岩波＝ケンブリッジ世界人名辞典』　岩波書店**
1997：本館 RC［GK2/053］・工分［280.3/2］
1998 CD-ROM：工分
『The Cambridge biographical encyclopedia』の日本語版で、現代の欧米人を中心に収録しています。氏名はカタカナ表記で、欧文索引もあります。

③ 地名を調べる

- **『大日本地名辞書』　全 8 巻　増補版　冨山房　1971**
  ：本館 RC [IIIC3-1/教閲]
  日本全国の都道府県と初版当時（明治末）日本の領土だった土地の、郡・町・村の地名の由来、歴史、文化が記載されています。なお、この辞書は記述の膨大さと質の高さに加え、在野の学者吉田東伍が一人で書いたということでも有名です。

- **『コンサイス外国地名事典』　第 3 版　三省堂　1998：本館 RC [G64/02]・本館学閲参考 [G64/02]**
  21,000 項目を収録し、歴史や文学、エピソードなどの記述もあります。ラテン文字索引･漢字索引があります。

④ 辞・事典を調べる

辞・事典を探すためのツールもあります。

- **『辞書の図書館』　駿河台出版社　2002：本館学閲 [UP41/030]**
  <http://www.aa.cyberhome.ne.jp/~uejima/index.html>
  どのような辞・事典があるか探すことのできるツールです。オンライン版もあります。タイトル・解説文を一度に検索できます。

- **『人物レファレンス事典』　全 6 巻　新訂増補版　日外アソシエーツ 2003：本館 RC [GK2/018]**
  古代から現代までの日本史上の人物について、人名(表記：読み)のほか、その異表記と異読み、生没年、活動時期、職業・肩書、業績などの簡単な事項、およびその人物がどの事典(人物事典・百科事典・歴史事典)にどういう見出しで掲載されているか、を調べることができます。検索対象となる事典は古代から現代までの 570 冊あまりで、148,844 人を収録しています。なお同じような事典として、『西洋人物レファレンス事典』『東洋人物レファレンス事典』『外国人物レファレンス事典』が作られており、いずれも本館 RC にあります。

⑤ 新聞・雑誌を探す

新聞・雑誌記事の探し方については2.2.7、2.2.8でそれぞれ説明します。ここではどんな雑誌・新聞があるのかを調べるツールを紹介します。

- **『雑誌新聞総かたろぐ』　メディア・リサーチ・センター　1979～**
  ：本館2号館・本館RCほか
  国内で発行される定期刊行物の内容・特色を調査・収録した年鑑です。収録対象は、雑誌や機関紙、要覧、新聞、通信類など、定期刊行物（終刊を予定せず、同一タイトルで号を追って継続的に刊行されるもの）です。

⑥ 特徴ある辞・事典

特化された分野や情報の辞･事典もあるので活用しましょう。以下はその例です。

- **『随筆辞典』　全5巻　柴田宵曲ほか著　東京堂　1961：本館RC［KH17］**
  近世日本の随筆から、1衣食住編、2雑芸娯楽編、3風土・民俗編、4奇談異聞編、5解題編というように各巻のテーマに沿った文章を集めて、項目ごとに分類した辞典です。解題編では随筆の本ごとにその特徴や文章について解説しています。

- **『近代文学研究叢書』　全77巻　昭和女子大学近代文化研究所**
  ：本館書庫［IVB3-1/シ11］ほか
  日本の明治・大正・昭和前期の作家の著作目録集です。有名無名作家の著作を調べることができます。またこの目録は図書のみならず、雑誌記事情報も調べられるので、これを使えば連載小説の雑誌での初出や、雑誌掲載のみで単行本化されていない文章がどの雑誌に載っているかなどを調べられます。

- **『宛字外来語辞典』　新装版　宛字外来語辞典編集委員会編　1991**
  ：本館RC［KF7/027］ほか
  「紐頓」(ニュートン)、「埃及」(エジプト)など、外来語人名・一般件名・地名の宛字を調べることができます。カタカナ読み、漢字の画数から検索ができ、用例それぞれに、依拠文献を掲載しています。

みみふくろ　辞典のように使える全集

何十巻にも及ぶ全集や、知識が多方面にわたる作家の著作集の最終巻に作られる「索引」には、ときに辞典のような働きをするものがあります。

『明治文学全集　別巻』の総索引は、99 巻からなる全集収録中の作品で使用される言葉を採録し索引にしています。例えば「カステラ」で引いてみると、巖谷小波、北原白秋、北田薄氷、田山花袋が作品中で「カステラ」と表記しており、内田銀蔵が「カステイラ」、三遊亭圓朝、正岡子規は「かすてら」と表記していたのだとわかります。そして記載されているページによって実際の作品にあたれば、その言葉がどのような文脈で使われているかがわかるでしょう。このように、総索引を使えば明治文学作品中での言葉の使われ方を検索することができます。

また、日本近世の人物・書物研究の碩学である森銑三居士の正続 30 巻に及ぶ著作集の索引を検索すれば、近世、明治、大正の書物・人名について調べることができます。

ただし、気をつけなければいけないのは、全集の記述は、あくまで個人の意見であるということです。そのことを理解した上で利用しましょう。

- **『明治文学全集』　全 100 巻　筑摩書房　1989：本館学閲[KH6/02]ほか**

2.2.2 日本語の学術論文を探す

ここからは日本語の学術論文を探すためのツールを紹介します。オンラインと冊子体のツールとがありますが、まずは代表的なオンラインのツール 3 つを比較します。分野ごとのツールは 2.3 以降で説明します。

(1) 代表的な3ツールとその違い

日本語論文を探すための代表的なデータベースには『NDL-OPAC 雑誌記事索引』『MAGAZINEPLUS』『CiNii』の 3 つがありますが、それぞれ下表の様な違いがあります。

ツール / 内容	NDL-OPAC 雑誌記事索引	MAGAZINEPLUS	CiNii
アクセス方法	どこからでも	学内から	どこからでも
使用料金	無料	学内からは無料	無料 （論文閲覧は有料）
収録データ	雑誌記事索引	雑誌記事索引＋ 各種データベース	雑誌記事索引＋ 各種データベース
特徴	昭和 23 年(1948)冊子体刊行以来の由緒あるデータベース	検索結果に東北大学の所蔵情報とのリンクがある	論文自体が見られる場合がある（基本的に有料）

図表 2-2 『NDL-OPC 雑誌記事索引』、『MAGAZINEPLUS』、『CiNii』の違い

『基本編』で紹介した『NDL-OPAC 雑誌記事索引』<http://opac.ndl.go.jp/>は、その名のとおり国立国会図書館作成の「雑誌記事索引」データベースを検索するツールです。収録雑誌は必ずしも学術雑誌のみではなく文芸雑誌など一般雑誌も含まれており、分野を横断した検索が可能です。『MAGAZINEPLUS』と『CiNii』は、その「雑誌記事索引」に加えて、さらに多くの情報を収録した複数のデータベースを同時に検索できます。

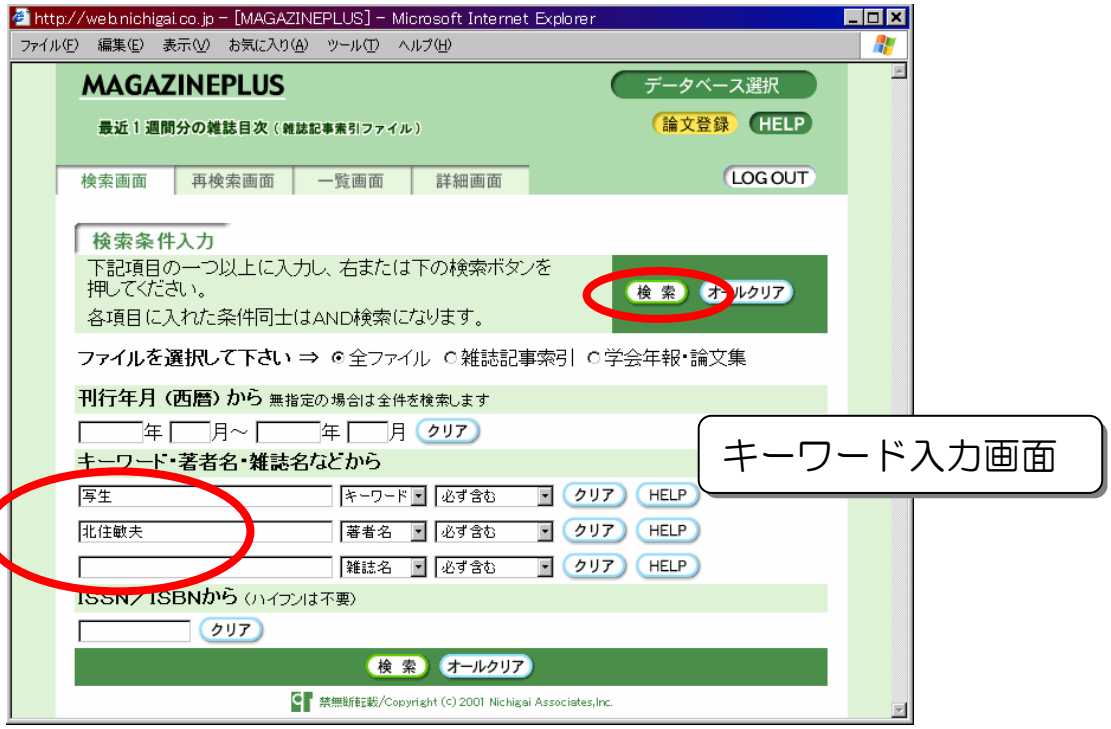
『基本編』では、アクセスが限定されず気軽に検索できるということから『NDL-OPAC 雑誌記事索引』の利用方法を説明しましたが、ここでは、より多くの文献情報を検索対象とする『MAGAZINEPLUS』と『CiNii』を紹介します。

(2)『MAGAZINEPLUS』

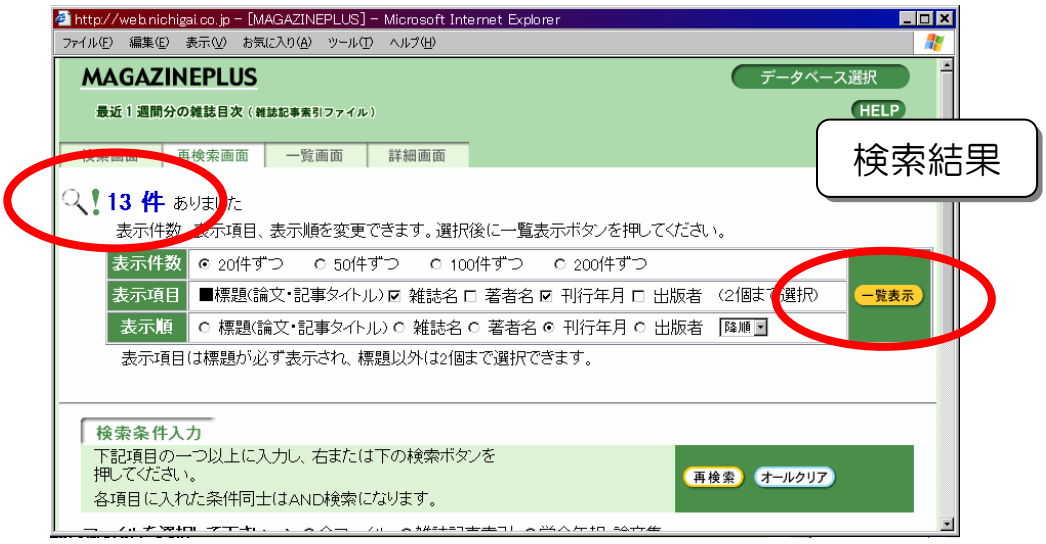
国立国会図書館で収集した国内の学術雑誌、専門誌、一般誌、紀要などの記事索引である『NDL-OPAC 雑誌記事索引』のデータに加え記念論文集や学会年報・研究報告なども収録した、日本の論文を検索するデータベースです。日本国内で発行された雑誌掲載の論文について、ある程度網羅的に調べることができます。また、検索結果から『Online Catalog』や『Webcat Plus』へリンクされているため、学内外でその雑誌を所蔵しているかどうか容易に調べられます。

項目	内容説明
分野	全般（日本国内の論文）
提供機関	日外アソシエーツ（情報提供は日外アソシエーツの他、国立国会図書館、機械振興協会、経済文献研究会）
範囲	雑誌記事索引（1948～） 記念論文集（1945～2003） 一般論文集（1945～2003） シンポジウム・講演集（1945～2003） 学会年報・研究報告（1945～2002） 一般誌・総合誌・ビジネス誌（1981～） 海外産業・企業誌紙（1984～2005/約 60 誌紙） 国内経済専門・業界誌（1981～1995/約 1300 誌）
URL	http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/zsk/
利用方法	学内のパソコンから（附属図書館ホームページからリンクあり）
備考	学内限定（同時アクセス数：8）

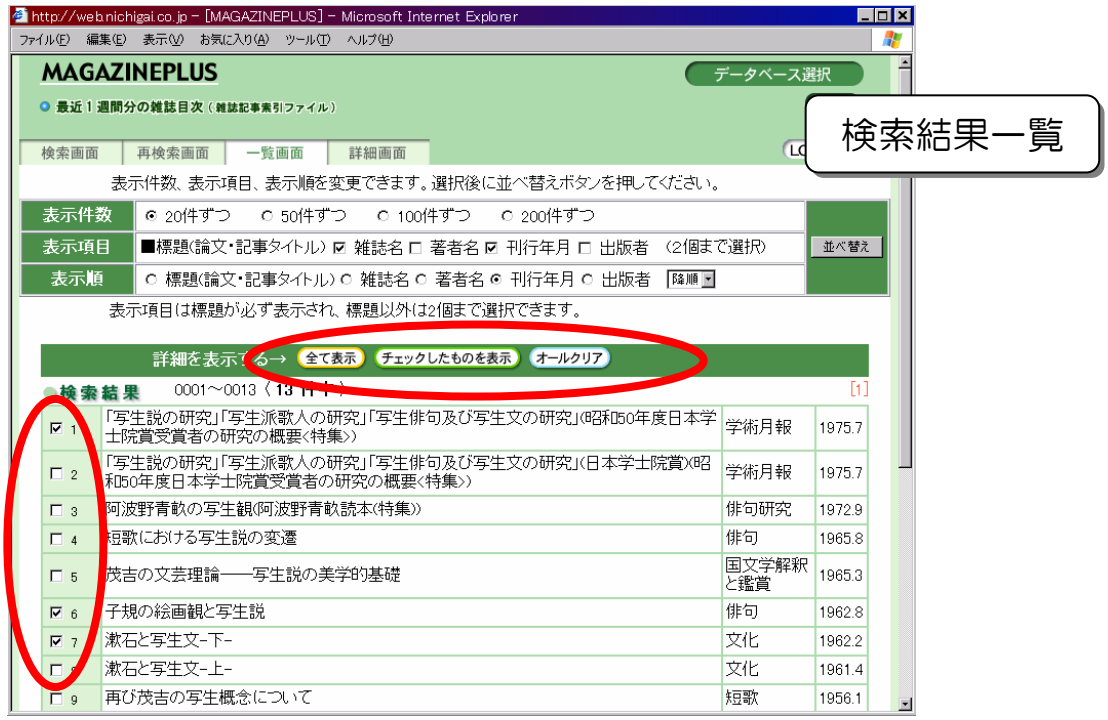
①附属図書館ホームページから『MAGAZINEPLUS』へログインし、キーワード・刊行年月日など、検索する条件を入力した後、検索ボタンを押します。(同時アクセス数に制限があるため、混雑時にはあとから再アクセスして下さい)
例)「キーワード：写生」「著者名：北住敏夫」



②まずは検索結果の数のみが表示されるので、表示する結果の件数、項目、順番を指定した上で「一覧表示」ボタンを押します。

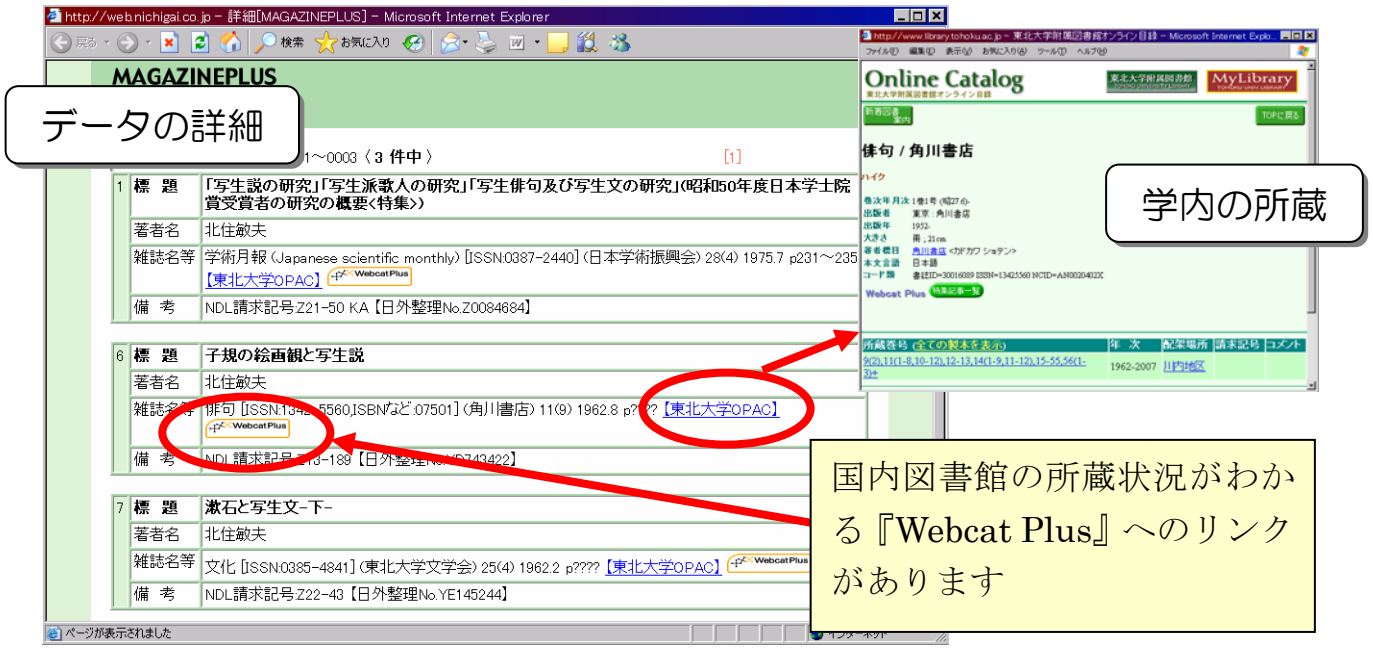


③結果一覧が表示されるので、詳細を見たいものにチェックをして「チェックしたものを表示」か、全詳細をまとめて見たい時には「全て表示」ボタンを押します。



④論文についての詳細が表示されます。さらに、この『MAGAZINEPLUS』では、『Online Catalog』とリンクがされており、そこから学内での所蔵状況がすぐに確認できます。

リンク設定は機械的に処理されているので、もしリンクが無くても、念のため『Online Catalog』で改めて検索して本当に所蔵がないかどうか確認して下さい。



前掲内容説明の表のとおり、『MAGAZINEPLUS』に収録された『NDL-OPAC 雑誌記事索引』以外のデータベースは大半が更新を終了していますが、更新終了後に発行された学会年報などの文献情報は、『NDL-OPAC 雑誌記事索引』の収録対象資料の充実によりカバーされつつあります。『NDL-OPAC 雑誌記事索引』で採録している資料の情報は、国立国会図書館のウェブサイトで確認できます。
<http://www.ndl.go.jp/jp/data/sakuin/sakuin_index.html>

みみふくろ　雑誌の所蔵情報を読む

『基本編』(3.2.1(4))でも解説しましたが、雑誌を検索して『Online Catalog』でヒットしたら、目的の号があるかどうかをさらに確認しなければなりません。製本（雑誌を複数冊まとめて装幀したもの）、未製本（発行されたままのもの）の所蔵状況が別々に表示されます。最近 1～2 年に発行された新しい雑誌は未製本で古い雑誌は製本と覚えると良いでしょう。

(3)『CiNii』

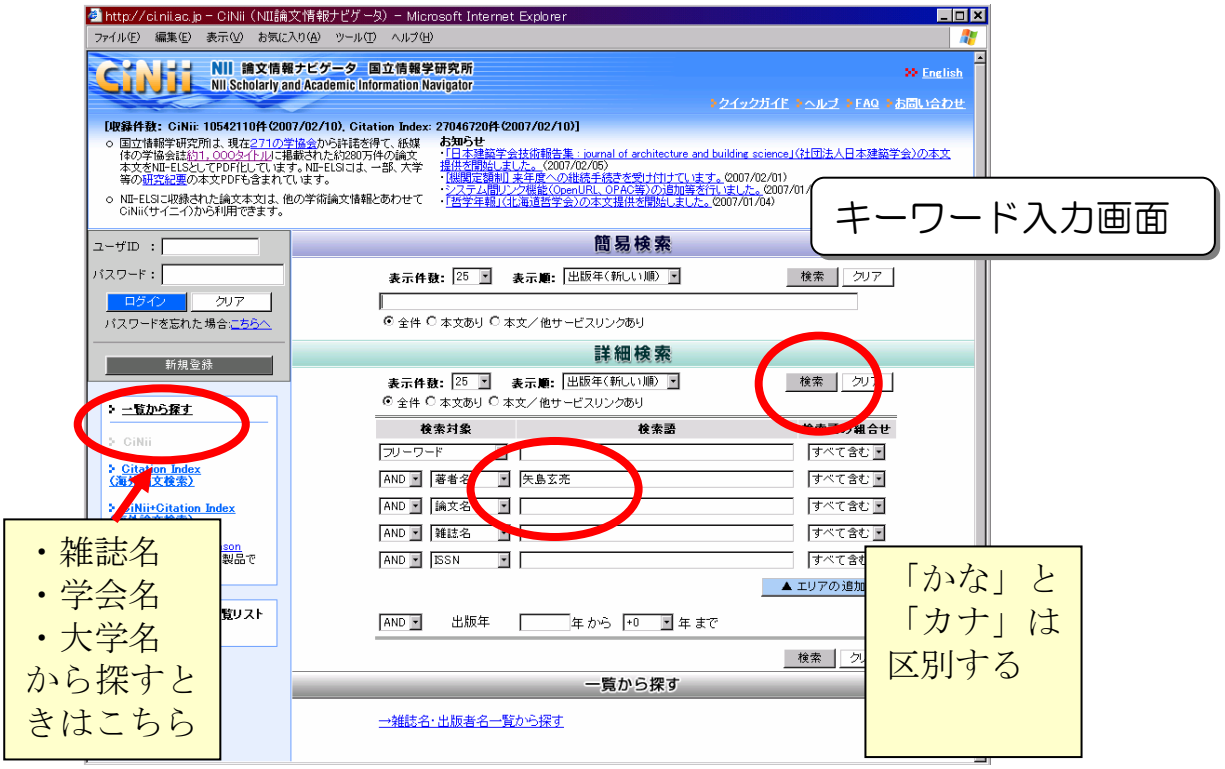
もともとは日本の学協会が発行する学術雑誌を対象とした「電子図書館サービス」や、大学・研究機関などの紀要類を対象とした「研究紀要目次速報」の 2 つのデータベースを検索するためのツールでしたが、平成 17 年（2005）から「雑誌記事索引」（2.2.2(1)参照）もあわせて検索できるようになり、とても便利なツールに発展しました。論文情報の検索だけではなく、一部論文は抄録や本文そのものが無料で利用できます。

項目	内容説明
分野	全般（日本国内の論文）
提供機関	国立情報学研究所
範囲	雑誌記事索引（1948～） 国内学協会発行の学術雑誌の本文（収録年代は雑誌により異なる） 研究紀要の抄録(一部本文含む)(収録年代は雑誌により異なる) 引用情報（自然科学系のみ） Citation Index　(利用登録必要)
URL	http://ci.nii.ac.jp/
利用方法	インターネットを使えるパソコンで上記 URL へアクセス
備考	検索は無料。論文本文閲覧は有料（例外あり）。本学は定額制機関となっていないため、利用は個人利用となる。論文は一論文単位での購入（pay per view）も可。有料コンテンツの利用方法や利用登録方法については、ウェブサイトのヘルプを参照すること。

「雑誌記事索引」以外のデータベース 2 つは、収録雑誌によってさまざまな年代のものを収録していますが、古いものでは 19 世紀に発行された資料の論文が収録されています。また、独自に電子化を推進しているため、全文が見られる大学紀要類が多いのも特徴です。

ただし、この CiNii は複数のデータベースを横断検索するため、検索結果が重複していることがあります。また、「かな」と「カナ」を区別して検索しなければならないことに留意して下さい。

①<http://ci.nii.ac.jp>へアクセスし、簡易検索では「キーワード」を詳細検索では各入力項目に検索語を入力して、検索ボタンを押します。
例)「著者名：矢島玄亮」



②検索結果から論文の雑誌掲載情報を確認できます。論文タイトルをクリックすると、さらに画面が展開します。

③著者名のリンクから、その著者の別論文を検索できます。

（4）そのほかのツール

- **『全国短期大学紀要論文索引:1950-1979』　全 6 巻　埼玉福祉会　1982**
  ：本館 RC［UP54/013］ほか
  短期大学紀要のみの索引。1980 年から 1991 年までの分は日本図書センター発行の同名索引を利用して下さい。

- **『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成』　石山洋[ほか]編　皓星社**
  ：本館 RC［UP54/028］ほか
  昭和 23 年（1948）以前の雑誌の目次情報が分野別に編集されているので、『雑誌記事索引』の対象より古い年代の論文・記事を探したい場合に利用できます。なおウェブ<http://www.annex-net.jp/ks1/>で索引データベースがテスト版として公開されています。分野について網羅的に調べたい場合は冊子体を、特定のキーワード・著者名・雑誌名をもとに検索したい場合はウェブ版を、というように併用するとよいでしょう。

以上で紹介したツールは数ある中の一部です。いくら探しても見つからない時は、ツールを代えて探してみましょう。また一般には無名の雑誌でも、場合によっては総目次・総索引が作られていることがありますので、雑誌を直接探し始める前に、その雑誌の記事索引が作られていないか探して下さい。さらに、雑誌の記念号・年度末号には総目次が掲載される場合があります。

みみふくろ　GeNii（ジーニイ）とは

GeNii<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>は、研究に必要な情報を総合的に利用できるポータルサイトを目指して開設された、国立情報学研究所提供のウェブサイトで、以下の 4 つのデータベースをその一環として含んでいます。

・KAKEN:科学研究費補助金データベース　2.2.6 参照
・CiNii　2.2.2(3)参照
・Webcat Plus（国内の大学図書館等の所蔵検索が可能）
・NII-DBR（分野別専門情報を探すためのデータベース）

GeNii のサイトでは、これらの 4 つのデータベースを横断検索することもできますので、広く情報を収集する必要がある場合にはオススメです。その他にも、研究者用の求人・求職情報を集めた JREC-IN（研究者人材データベース）など、有用なサイトへのリンクも充実しています。

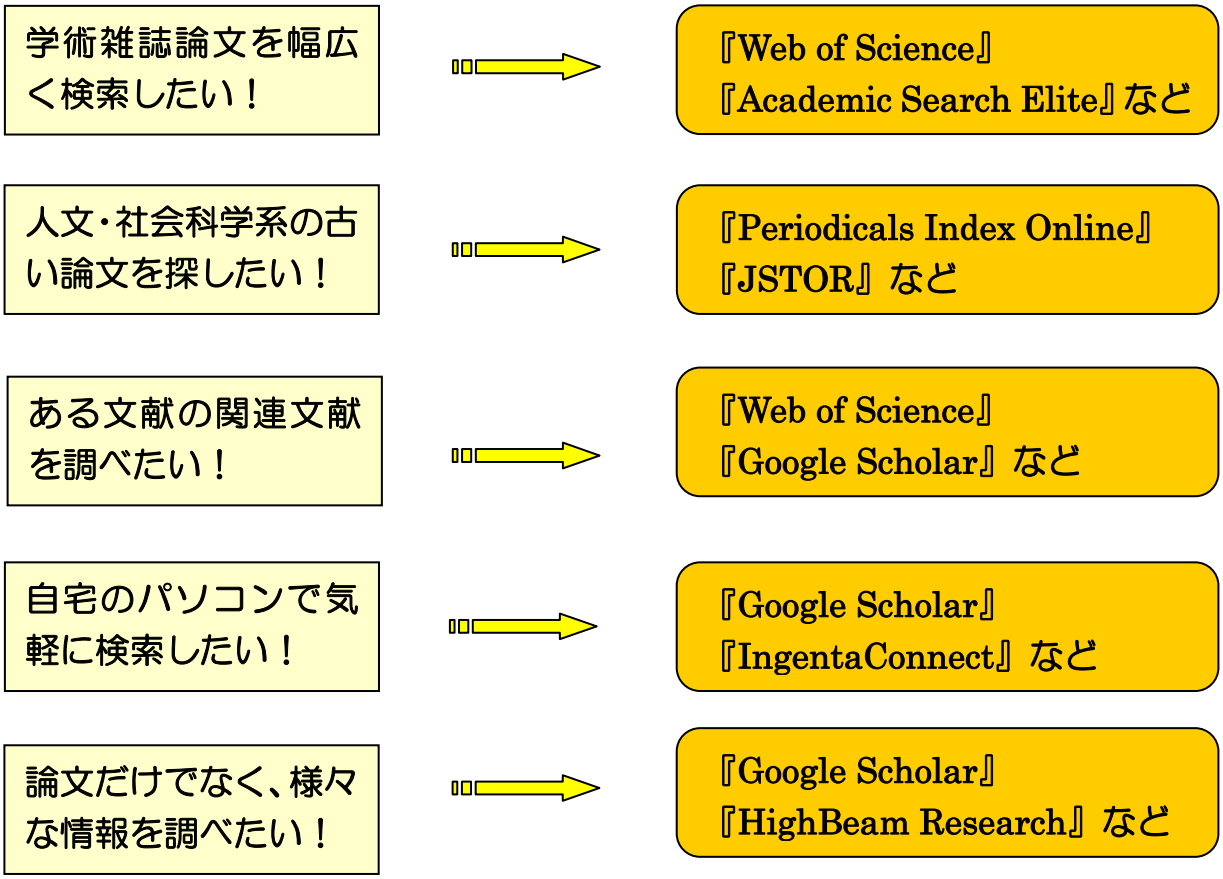
2.2.3 外国語の学術論文を探す

外国語の学術論文を探す主なデータベースは、以下のとおりです。収録分野・年代・資料や検索機能などはデータベースよって様々ですので、求める研究テーマに合わせて適切なデータベースを選択して下さい。なお、東北大学で契約している有料のデータベースは、原則として学内のみでの利用になる点に注意して下さい。

データベース名	収録分野・年代 主な収録資料	特徴
Web of Science （学内限定）	■ 全分野 ■ 人文・社会科学系は 1980～ ■ 学術雑誌論文	■ 幅広い分野の主要学術雑誌を収録 ■ ある文献の参考文献の検索 ■ ある文献を引用している文献の検索 ■ ある文献と参考文献の共有度が高い関連文献の検索 ■ 被引用回数の調査 ■ 検索結果の分析 など
Academic Search Elite （学内限定）	■ 全分野 ■ 1985～ ■ 学術雑誌論文 ■ 図書	■ 主要学術雑誌のフルテキストを収録 ■ 『EconLit』（2.6.4参照）との横断検索が可能 など
Periodicals Index Online （学内限定）	■ 人文・社会科学系 ■ 1750～1990 ■ 学術雑誌論文 ■ 一般雑誌記事	■ 学術雑誌及び研究対象となる一般雑誌を創刊号から収録 ■ 一部の雑誌はフルテキストも収録 ■ 過去のデータを随時更新（最新のものは収録対象外） など
JSTOR （学内限定）	■ 人文・社会科学系 ■ 創刊号～ ■ 学術雑誌論文	■ 主要学術雑誌（人文・社会科学系中心）のフルテキストを創刊号から収録 ■ 収録範囲は随時拡大（利用不可の範囲は過去 1～5 年分で各誌ごと規定） など
IngentaConnect （一部学内限定）	■ 全分野 ■ 1900～ ■ 学術雑誌論文 ■ 図書	■ 幅広い分野の雑誌・図書情報を収録 ■ 本学で契約しているものはフルテキストへアクセス可能 ■ 論文単位で個別に購入し、ダウンロードが可能 など

Google Scholar （無料）	■ 全分野 ■ 学術雑誌論文 ■ 図書 ■ 学術・教育機関提供の学術情報	■ インターネット上の様々な学術情報を一括して検索可能 ■ ある文献を引用している文献の検索 ■ ある文献の関連文献の検索 ■ 検索結果から『Google』を再検索 など
HighBeam Research （一部有料）	■ 全分野 ■ 1984～ ■ 新聞記事 ■ 雑誌記事 ■ 図書 ■ 百科事典	■ 記事情報と百科事典の項目を横断的に検索可能 ■ 比較的マイナーな新聞・雑誌も収録 ■ フルテキストの利用は有料 など

図表 2-3　データベースの特徴一覧

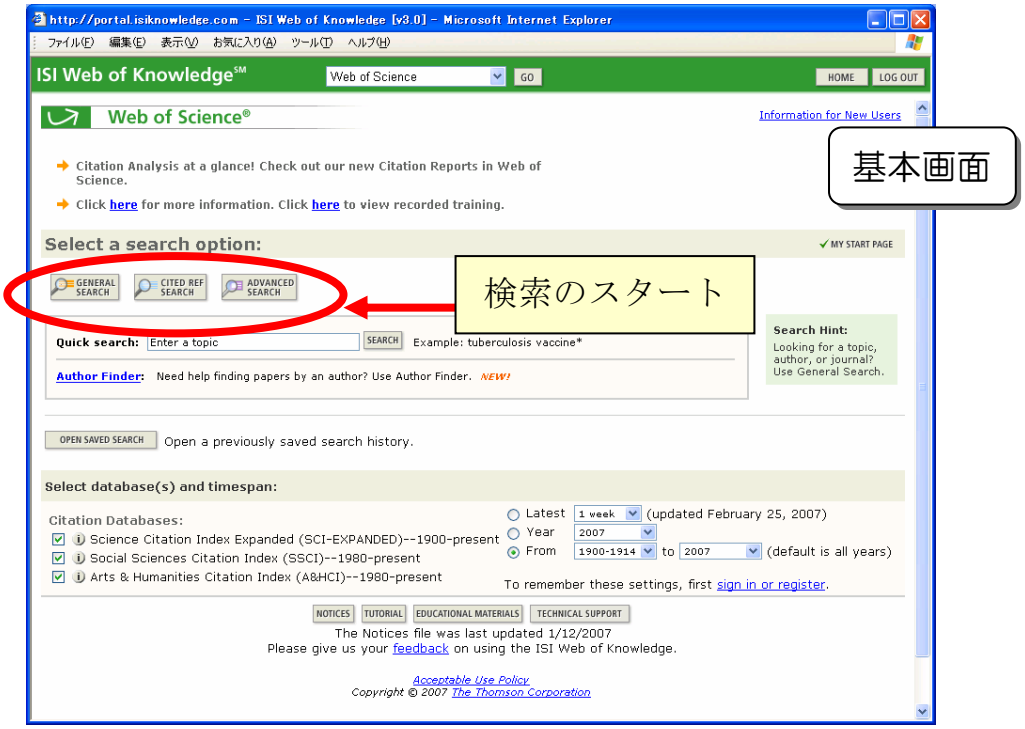


図表 2-4　データベースの使い分け例

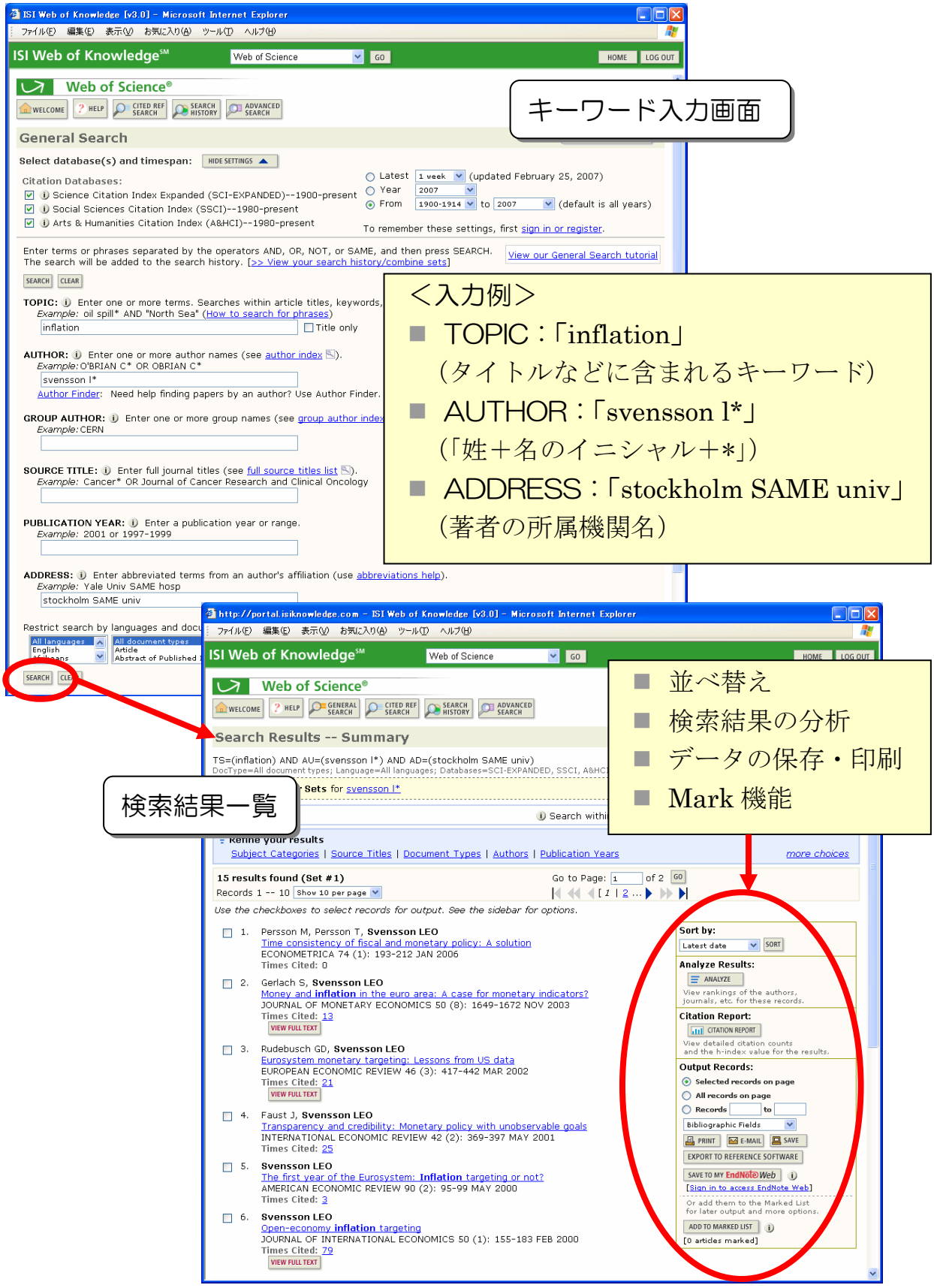
（1）『Web of Science』

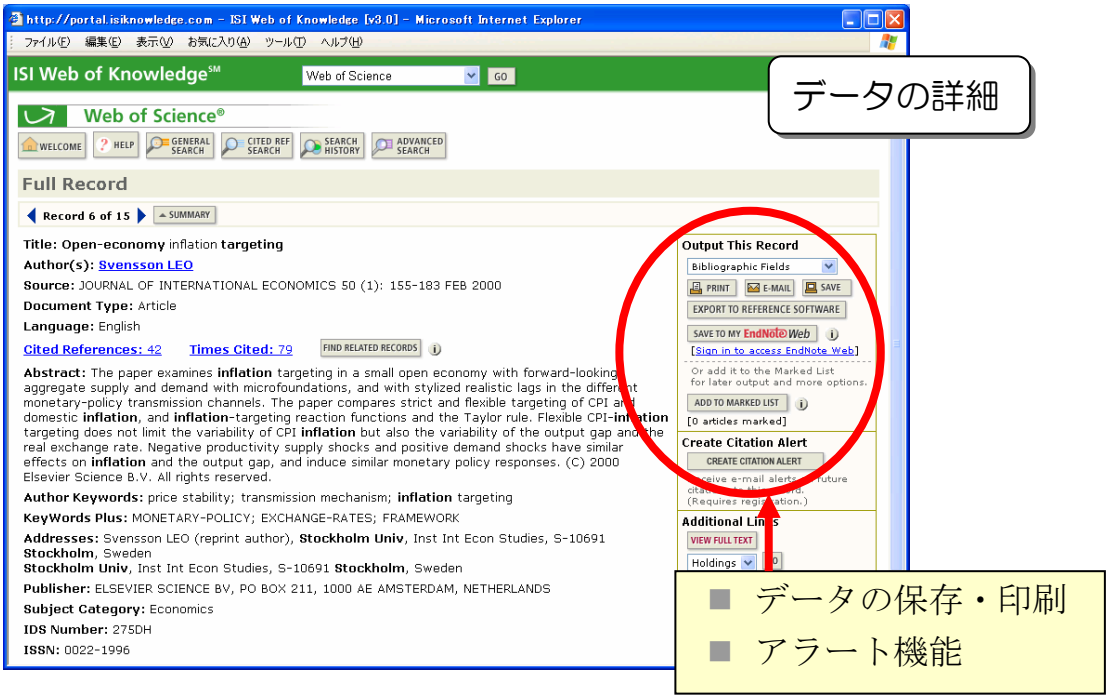
『Web of Science』は、人文科学、社会科学、自然科学各分野における主要雑誌の文献情報を収録し、『ISI Web of Knowledge』という検索システムで利用できるデータベースです。このデータベースは、基本的な文献検索ツールとして有用なだけではなく、引用文献検索により、文献同士の引用関係やある文献の関連文献を明らかにし、研究テーマの変遷などを調査することもできます。

項目	内容説明
分野	全分野
提供機関	Thomson Scientific
収録対象	学術雑誌論文
収録規模	約 9,300 誌
範囲	Arts & Humanities Citation Index (1980～)　人文科学系 Social Sciences Citation Index (1980～)　社会科学系 Science Citation Index Expanded (1900～)　自然科学系
URL	http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/wos/
利用方法	学内のパソコンから（附属図書館ホームページからリンクあり）
備考	学内限定

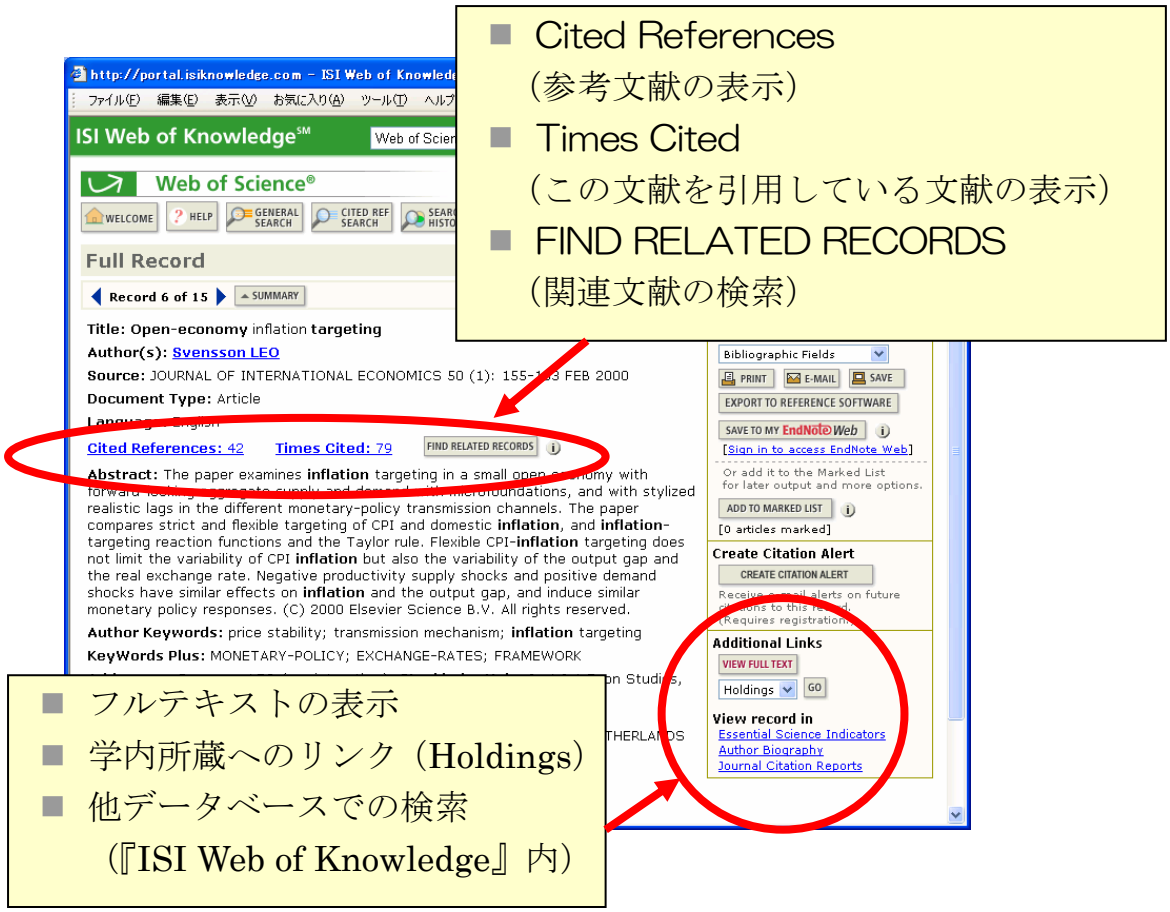


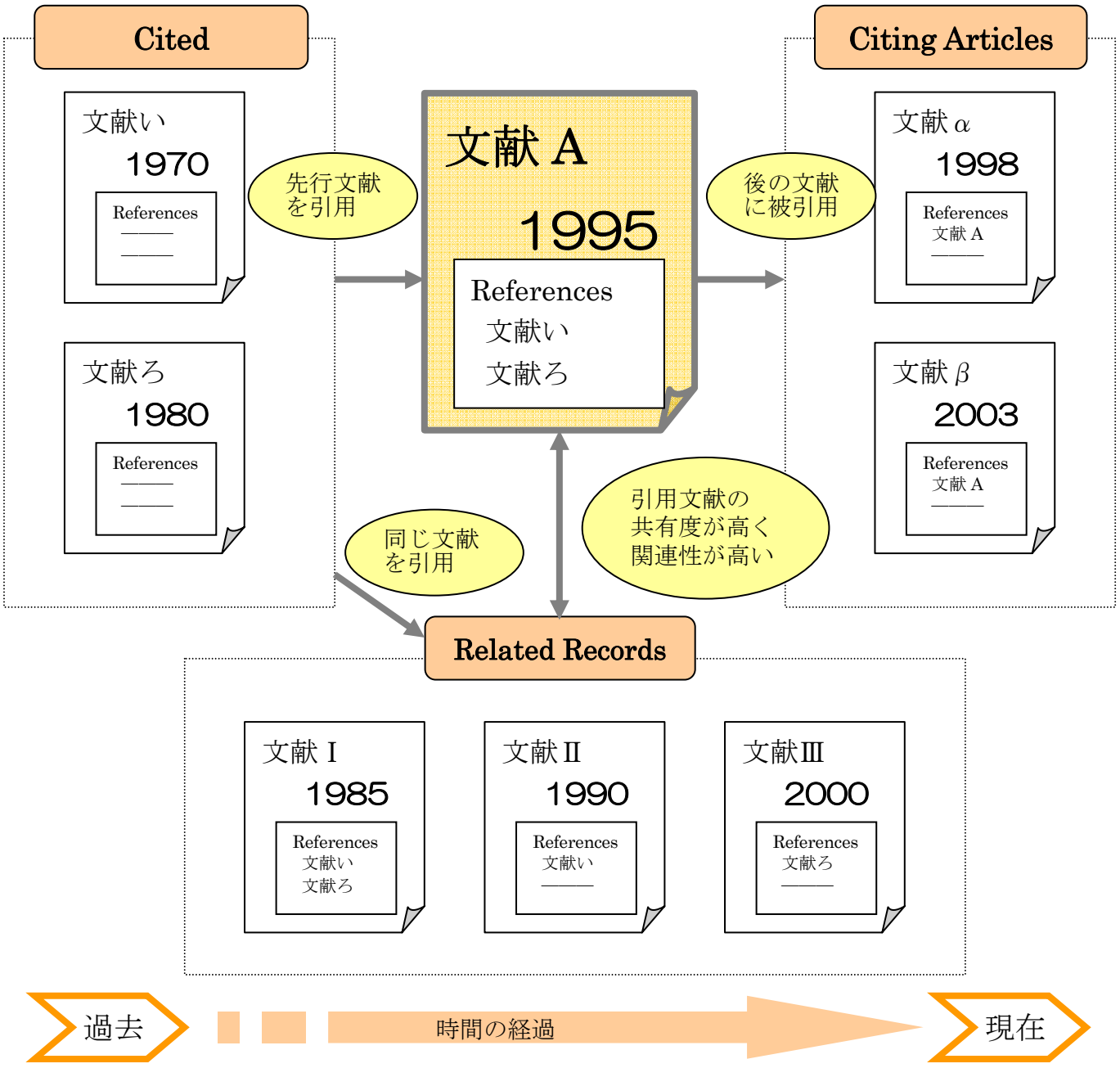
ここでは、「General Search」を例に説明します。





この詳細画面からは、『Web of Science』の特色を活かした画面展開が可能です。また、画面展開により表示される各文献の関係性は、次ページのとおりです。





名称	文献 A との関係性
Cited References（参考文献）	文献 A の「References」に記載されている文献。すべて文献 A よりも前に発表され、その数は変わらない。
Related Records（関連文献）	文献 A の参考文献を多く共有する文献。発行時期はさまざまで、時間の経過とともにその数は増える。
Citing Articles（特定の文献を引用している文献）	文献 A を引用している文献。すべて文献 A より後に発表され、時間の経過とともにその数は増える。

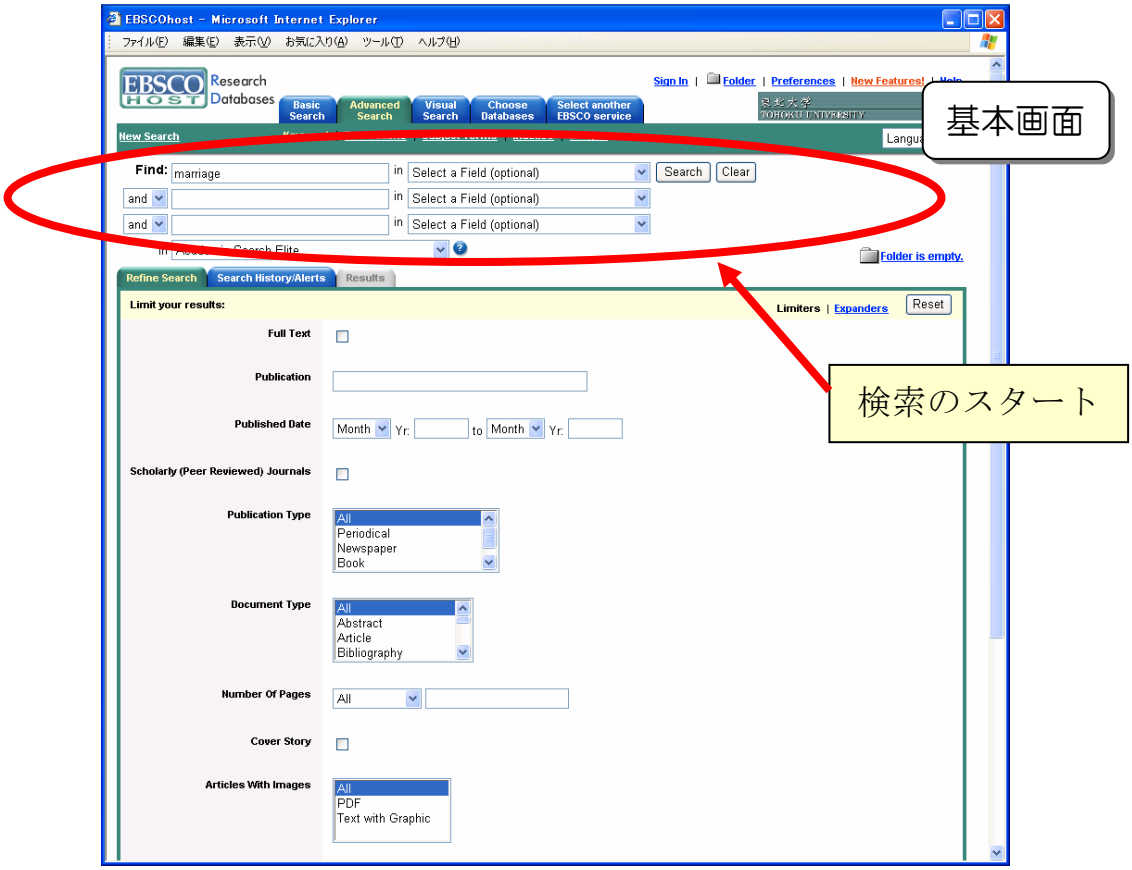
図表 2-5 Web of Science における文献の関係性

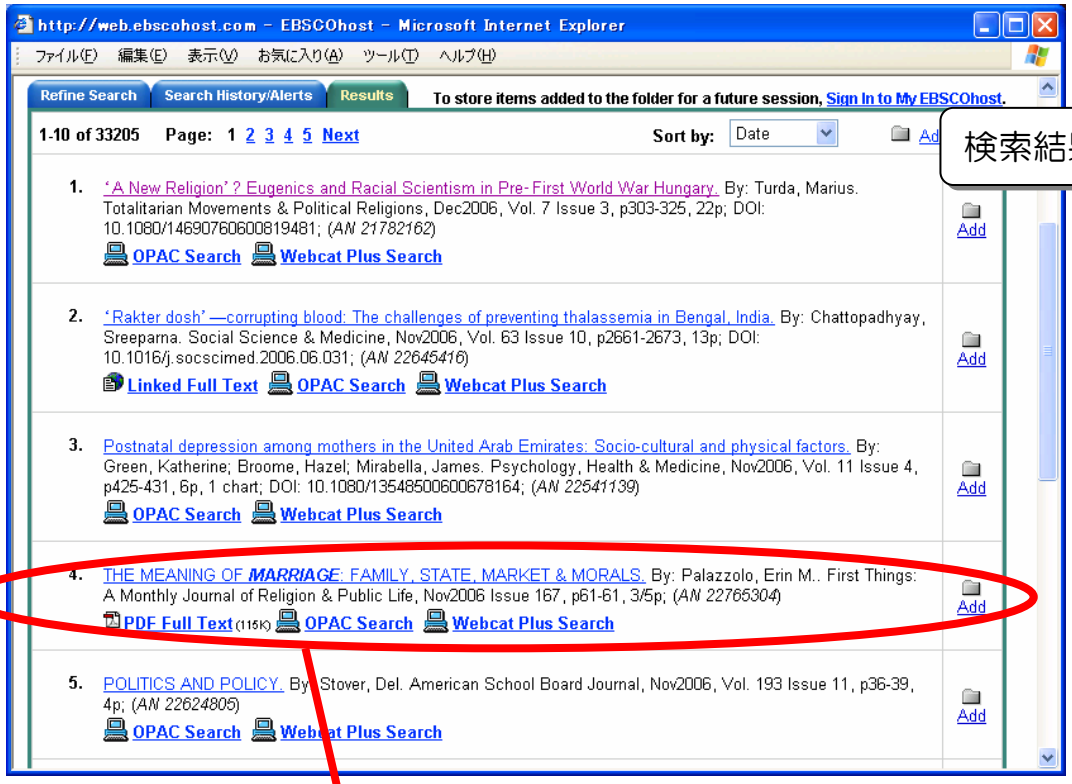
（2）『Academic Search Elite』

『Academic Search Elite』は、幅広い分野の外国雑誌を検索し、得られた論文のフルテキスト・抄録を印刷・保存・E-Mail 送信できるデータベースです。東北大学の学内所蔵などへのリンク機能や検索式の保存機能、アラート機能も利用できます。

項目	内容説明
分野	全分野
提供機関	EBSCO Industries
収録対象	学術雑誌論文
収録規模	2,000 誌以上の全文、3,400 誌以上の抄録
範囲	1985～
URL	http://search.ebscohost.com/
利用方法	学内のパソコンから（附属図書館ホームページからリンクあり）
備考	学内限定。『EconLit』（2.6.4参照）との横断検索が可能。

本学では、『EBSCOhost』という検索システムで利用できます。



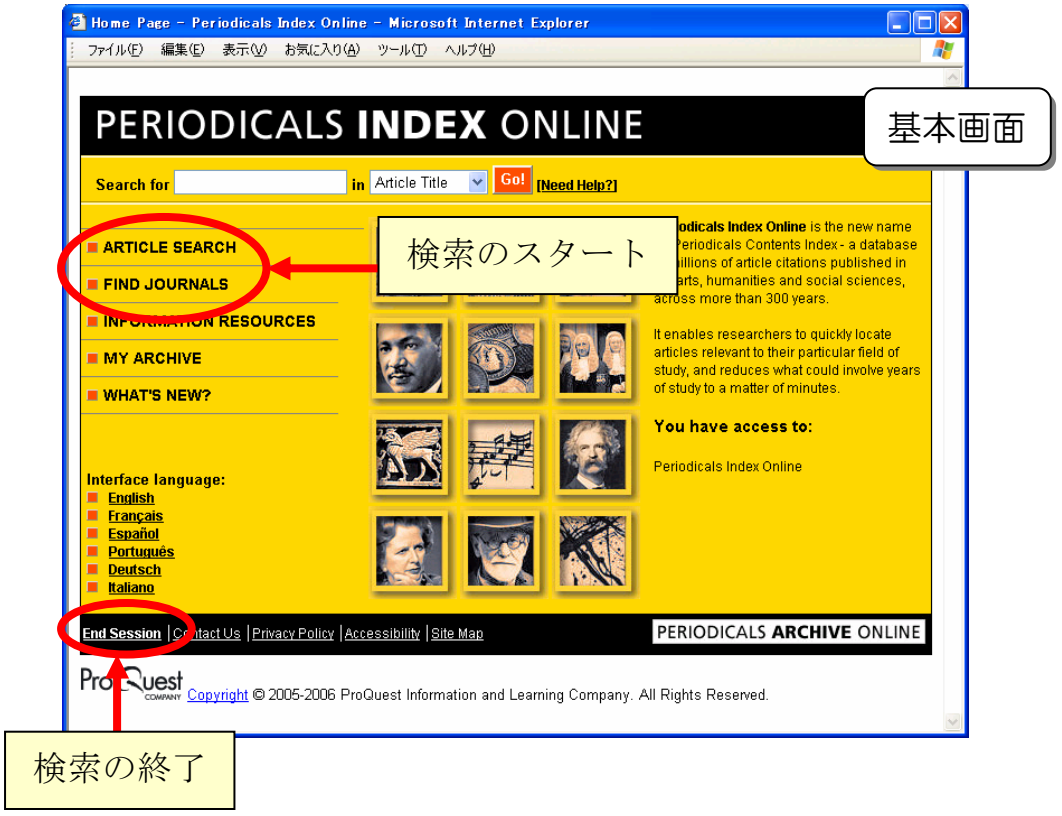

検索結果一覧

データの詳細
検索結果の
印刷・保存
■ 学内所蔵へのリンク
■ 『Webcat Plus』へのリンク
■ フルテキストの表示

（3）『Periodicals Index Online』

『Periodicals Index Online』は、人文・社会科学系分野全般の外国雑誌論文及び一般雑誌記事（研究対象として価値のあるもの）を創刊号から収録するデータベースで、以前は『PCI(Periodicals Contents Index)』と呼ばれていました。最新の情報は追加されず、過去のデータが順次収録されていくという特徴があり、完結時には収録数が 5,000 誌、2,000 万件に及ぶ予定です。

項目	内容説明
分野	人文・社会科学系全般
提供機関	ProQuest Information and Learning Company
収録対象	学術雑誌論文及び一般雑誌記事
収録規模	約 4,500 誌（約 500 誌はフルテキスト利用可）
範囲	1750～1990（一部 1995）
URL	http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/pci/
利用方法	学内のパソコンから（附属図書館ホームページからリンクあり）
備考	学内限定（同時アクセス数：2）



キーワード入力画
検索結果一覧
フルテキストの表示
掲載雑誌の詳細情報

(4)『JSTOR』

『JSTOR』は、主要学術雑誌の信頼性の高いアーカイブを構築、維持及び提供するデータベースです。最新号は利用できませんが、収録誌はすべて創刊号から過去1～5年発行分までのフルテキストを利用することができます。

項目	内容説明
分野	人文・社会科学系全般
提供機関	JSTOR
収録対象	学術雑誌論文
収録規模	Arts & Sciences I Collection（経済学、文学など）119 誌 Arts & Sciences II Collection（経済学、史学など）125 誌 Business Collection（ビジネス関連）47 誌
範囲	創刊号から過去 1～5 年発行分まで（最新号は含まない）
URL	http://www.jstor.org/
利用方法	学内のパソコンから（附属図書館ホームページの電子ジャーナルのページから利用）
備考	学内限定

キーワード入力画
検索結果一覧
データの表示
JSTOR Basic Search
Non-cooperative Games
Search
Search for links to articles outside of JSTOR
Basic Search | Advanced Search | Article Locator
Modify Your Search
Results 1-25 of 1039 for « Non-cooperative Games » (0.40 seconds)
1. Rationality Postulates for Bargaining Solutions in Cooperative and in Non-Cooperative Games
John C. Harsanyi
Management Science > Vol. 9, No. 1 (Oct., 1962), pp. 141-153
10. Non-Cooperative Games
John Nash
The Annals of Mathematics > 2nd Ser., Vol. 54, No. 2 (Sep., 1951), pp. 286-295
NON-COOPERATIVE GAMES
JOHN NASH
(Received October 11, 1950)
Introduction

（5）『IngentaConnect』

『IngentaConnect』は、29,500 以上にも及ぶ学術雑誌・図書の文献情報を提供するデータベースです。東北大学で契約しているタイトルについては、検索結果からフルテキストにアクセスすることが可能です。また、論文単位で個別に購入し、ダウンロードすることもできます。

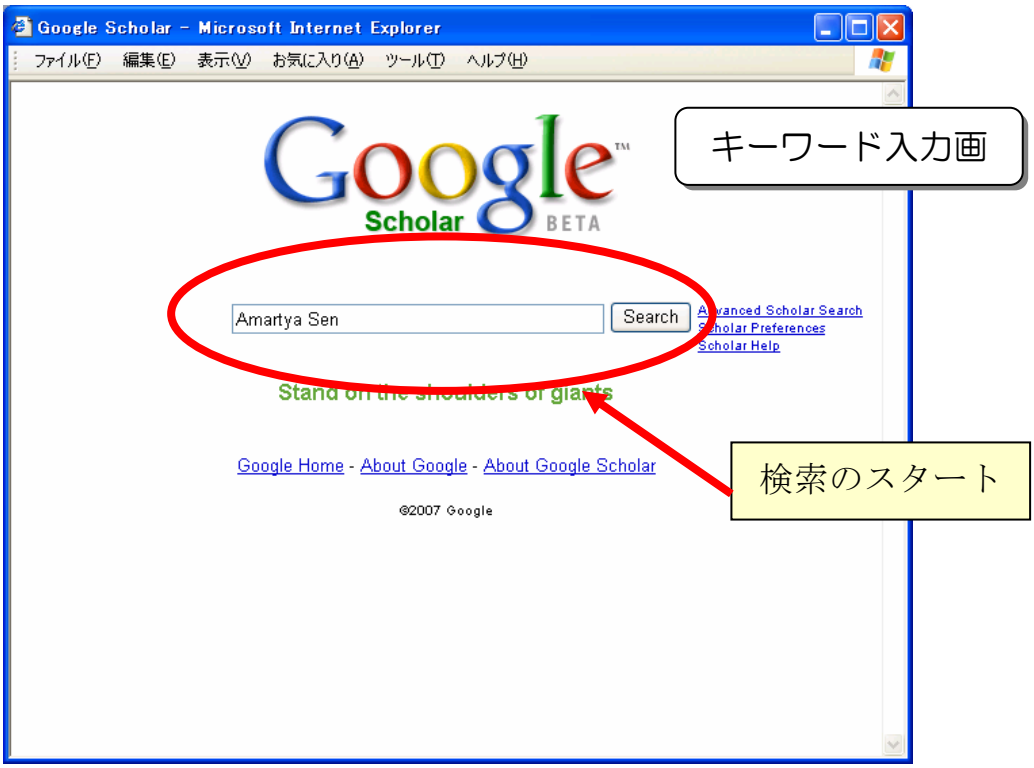
項目	内容説明
分野	全分野
提供機関	Ingenta
収録対象	学術雑誌論文、図書など
収録規模	2,100 万件以上（29,500 以上の雑誌及び図書）
範囲	1900～
URL	http://www.ingentaconnect.com/
利用方法	インターネットを使えるパソコンで上記 URL へアクセス
備考	本学で契約しているフルテキストへのアクセスは学内限定

検索結果一覧
Sの表示があれば、
フルテキスト利用可
データの詳細
■ 参考文献の表示
■ 『Google Scholar』へのリンク
■ フルテキストの表示

（6）『Google Scholar』

『Google Scholar』は、インターネット上で公開されている様々な学術情報を一括して検索できるサービスです。まだベータ版となっていますが、文献同士の引用関係をたどる検索も無料で利用することができる有用な検索ツールです。

項目	内容説明
分野	全分野
提供機関	Google
収録対象 収録規模 範囲	インターネット上に公開されている学術雑誌論文、図書、学術・教育機関（大学、図書館、学協会など）提供の学術情報
URL	http://scholar.google.com/
利用方法	インターネットを使えるパソコンで上記 URL へアクセス
備考	本学で契約しているフルテキストへのアクセスは学内限定

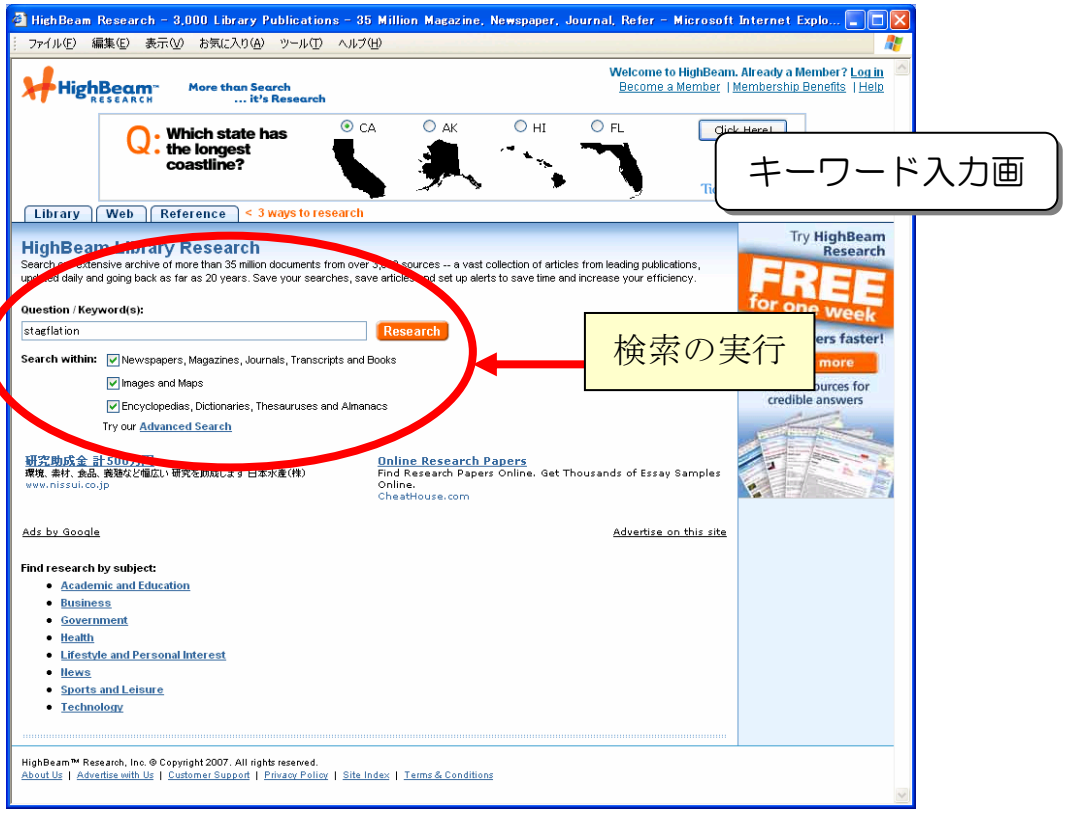


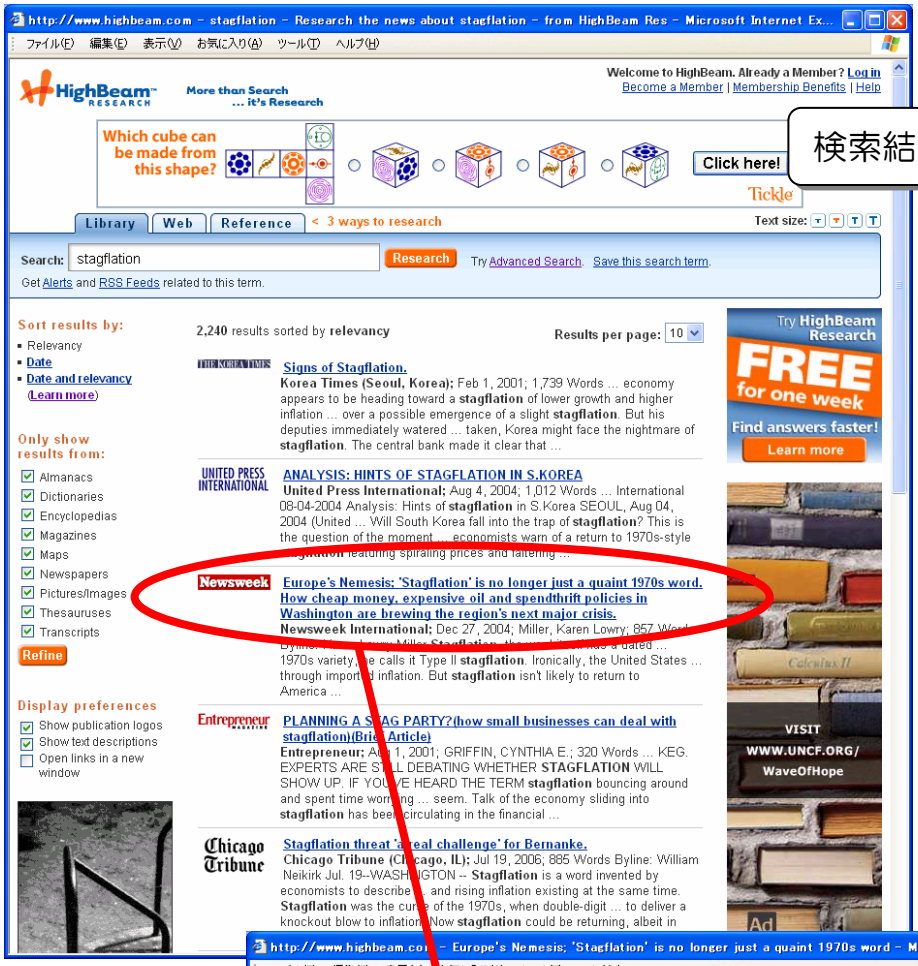
検索結果一覧
■ 被引用件数と文献リストへのリンク
■ 関連文献の検索
■ ウェブ情報の検索
■ 世界各国の図書館の所蔵情報の検索
■ 『British Library Direct』へのリンク
関連文献の一覧
データの表示

（7）『HighBeam Research』

『HighBeam Research』は、新聞記事や雑誌記事などのフルテキストを収録し、百科事典や写真、地図なども検索できるデータベースです。フルテキストや画像の利用は基本的に有料ですが、見出しや一部分を無料で利用することができます。

項目	内容説明
分野	全分野
提供機関	HighBeam Research, Inc.
収録対象	新聞記事、雑誌記事、図書、百科事典、写真、絵、地図など
収録規模	3,500 万件以上
範囲	1984～
URL	http://www.highbeam.com/
利用方法	インターネットを使えるパソコンで上記 URL へアクセス
備考	フルテキストの利用は有料（一部は無料）



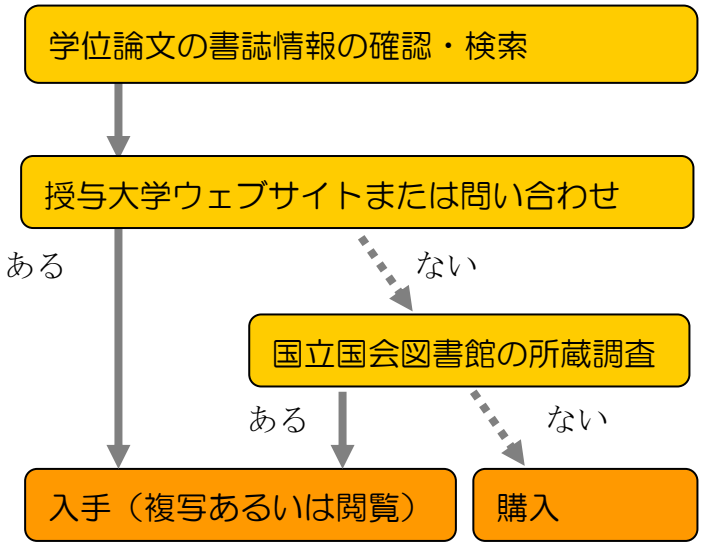

検索結果一覧
HighBeam RESEARCH
More than Search ... it's Research
Welcome to HighBeam. Already a Member? Log in
Become a Member | Membership Benefits | Help
Which cube can be made from this shape?
Click here!
Tickle
Library
Web
Reference
< 3 ways to research
Text size:
Search: stagflation
Research
Try Advanced Search. Save this search term.
Get Alerts and RSS Feeds related to this term.
Sort results by:
Relevancy
Date
Date and relevancy
(Learn more)
Only show results from:
Almanacs
Dictionaries
Encyclopedias
Magazines
Maps
Newspapers
Pictures/Images
Thesauruses
Transcripts
Refine
Display preferences
Show publication logos
Show text descriptions
Open links in a new window
2,240 results sorted by relevancy
Results per page: 10
Signs of Stagflation.
Korea Times (Seoul, Korea); Feb 1, 2001; 1,739 Words ... economy appears to be heading toward a stagflation of lower growth and higher inflation ... over a possible emergence of a slight stagflation. But his deputies immediately watered ... taken, Korea might face the nightmare of stagflation. The central bank made it clear that ...
ANALYSIS: HINTS OF STAGFLATION IN S.KOREA
United Press International; Aug 4, 2004; 1,012 Words ... International 08-04-2004 Analysis: Hints of stagflation in S.Korea SEOUL, Aug 04, 2004 (United ... Will South Korea fall into the trap of stagflation? This is the question of the moment ... economists warn of a return to 1970s-style stagflation featuring spiraling prices and faltering ...
Europe's Nemesis; 'Stagflation' is no longer just a quaint 1970s word. How cheap money, expensive oil and spendthrift policies in Washington are brewing the region's next major crisis.
Newsweek International; Dec 27, 2004; Miller, Karen Lowry; 857 Word
1970s variety, he calls it Type II stagflation. Ironically, the United States ... through imported inflation. But stagflation isn't likely to return to America ...
PLANNING A STAG PARTY?(how small businesses can deal with stagflation)(Brief Article)
Entrepreneur; Aug 1, 2001; GRIFFIN, CYNTHIA E.; 320 Words ... KEG. EXPERTS ARE STILL DEBATING WHETHER STAGFLATION WILL SHOW UP. IF YOU'VE HEARD THE TERM stagflation bouncing around and spent time worrying ... seem. Talk of the economy sliding into stagflation has been circulating in the financial ...
Stagflation threat 'a real challenge' for Bernanke.
Chicago Tribune (Chicago, IL); Jul 19, 2006; 885 Words Byline: William Neikirk Jul. 19--WASHINGTON -- Stagflation is a word invented by economists to describe ... and rising inflation existing at the same time. Stagflation was the curse of the 1970s, when double-digit ... to deliver a knockout blow to inflation. Now stagflation could be returning, albeit in
Try HighBeam Research
FREE for one week
Find answers faster!
Learn more
VISIT WWW.UNCF.ORG/WaveOfHope
Ad
データの詳細
Europe's Nemesis; 'Stagflation' is no longer just a quaint 1970s word. How cheap money, expensive oil and spendthrift policies in Washington are brewing the region's next major crisis.
Save article
Print
E-mail
Export
Blog
Related articles
From: Newsweek International | Date: December 27, 2004 | Author: Miller, Karen Lowry | More results for: stagflation
Newsweek Byline: Karen Lowry Miller
Stagflation, the word itself has a dated, 1970s ring to it--fitting perhaps, since the last time any major developed nation was struck by this painful combination of low growth and high inflation came during that benighted decade. The condition is rare precisely because it requires a huge external shock to the system, such as soaring oil prices. It's also devastating in its consequences, and fiendishly difficult to dispel, because the sharply higher interest rates needed to arrest spiraling price hikes can send an economy into a tailspin and throw ...
Read all of this article with a FREE TRIAL
Already a Member? Log in now. Learn about membership benefits.
(This preview shows 597 of 5,583 characters)
COPYRIGHT 2004 Newsweek, Inc. All rights reserved. Any reuse, distribution or alteration without express written permission of Newsweek is prohibited. For permission: www.newsweek.com
This material is published under license from the publisher through the Gale Group, Farmington Hills, Michigan. All inquiries regarding rights should be directed to the Gale Group.
More articles like this:
1. Signs of Stagflation.
Korea Times (Seoul, Korea); February 1, 2001; 1,739 words
2. ANALYSIS: HINTS OF STAGFLATION IN S.KOREA
United Press International; August 4, 2004; 1,012 words
3. PLANNING A STAG PARTY?(how small businesses can deal with stagflation)(Brief Article)
Entrepreneur; August 1, 2001; GRIFFIN, CYNTHIA E.; 320 words
Ads by Google
The Oil Shale Discovery
Learn How Colorado and ... Middle East
www.DailyWealth.com/Oil_Report
Oil Price Forecasts
Analysis & Forecast On Key Trends Affecting Global Oil & Gas Markets.
www.oilandgasinsight.com
Top 10 Stocks for 2007
America's 10 Leading Experts Share Energy Stock Picks. Free Report
www.NewsletterAdvisors.com
Globalization -- Analysis
Balanced articles on globalization latest news, debates, pros and cons
www.GlobalEnvision.org
Have you been a dad today?
Ad Council
National Fatherhood Initiative
Publications with similar articles
International Herald Tribune
The Evening Standard (London, England)

2.2.4 学位論文を探す

学位論文には、修士論文（M.D. Thesis）と博士論文（Ph.D. Thesis または Dissertation）があります。ここでは博士論文を中心に説明します。

（1）特徴

学位論文の特徴は、内容が詳しいこと、審査を受けるため信頼性が高いことなどがあげられます。その多くは通常の出版・流通市場に乗らず、学位の授与機関や特定の収集機関などで保管されているため、入手が困難な資料の一つですが、検索から入手までの基本的な手順は、次のとおりです。



図表 2-6 学位論文入手の手順

学位論文は、参考文献では次のように記述されます。記述の方法は論文の掲載誌によって異なりますが、学術論文とは違う点に注意して下さい。また、検索及び入手にあたっては、授与機関のウェブサイトを参照したり、直接問い合わせを行ったりする必要があるため、「授与機関はどこか」が特に重要な情報となります。

例）曽根原理. 徳川家康神格化の思想史的研究. 博士論文. 東北大学, 1994.
著者名　タイトル　種類　授与機関　授与年

例）Patricia S.. Financing the long peace･･･. Ph.D.thesis. Harvard Univ., 1994.
著者名　タイトル　種類　授与機関　授与年

東北大学の学位論文は、各部局で保管されており、保管場所は各部局によって異なります。人文社会学系については以下の通りですが、利用に制限がある場合もありますので、詳細については、各キャンパスの図書館・室に問い合わせて下さい。

研究科	保管場所
文学	文学研究科教務係
教育学	教育学研究科図書室
法学	法学研究科図書室
経済学	経済学研究科図書室
国際文化	各講座及び国際文化研究科図書室

図表 2-7 学位論文の保管場所

他大学の学位論文は、各大学によって保存や閲覧の手続きが異なるので、東北大学の図書館カウンターに問い合わせて下さい。各大学で対応できない場合は、国立国会図書館に依頼することができます。(所蔵は 1923 年の関東大震災以降)

また、イギリスの学位論文は、英国図書館に複写を依頼できます。その他の国の学位論文は、民間業者に取り寄せを依頼することができます。料金設定は業者によって異なります。代表的な取り扱い業者は次のとおりです。

- **雄松堂**<http://www.dissertation-yushodo.jp/>
- **サンメディア**<http://www.sunmedia.co.jp/dissertation.html>

みみふくろ　学位論文の複写

図書館における複写は、著作権法第 31 条により、①利用者の求めにより、②調査研究のため、③公表された著作物の、④一部分を、⑤1 人につき 1 部、提供することが認められています。

日本の学位論文の場合問題になるのは、③の公表されていると認められるか、また、④の一部分かどうか、という点にあります。場合によっては著者本人の許諾を得る必要があるので、複写を希望する場合は図書館のカウンターへ相談して下さい。

最近は著者の許諾を事前に受けて、ウェブでフルテキストを公開している大学や、著者に代行して複写物を販売している大学もあります。

(2) 学位論文の検索ツール

国内の学位論文を探す場合は、以下のツールが有用です。

- **『博士論文書誌データベース』　国立情報学研究所　1923～**
  NII-DBR で提供　<http://dbr.nii.ac.jp/>
  現在最も網羅的なデータベースで、全国約 330 の国公私立大学等の学位論文を検索できます。収録年の範囲は機関により異なっています。

- **『日本博士録』　教育行政研究所：本館 RC [F2]ほか**
  明治 21 年（1888）～昭和 52 年（1977）の間の博士学位論文を探すことができます（詳細は本館レファレンスデスクへ）。

- **『博士学位論文内容要旨および審査結果要旨』　東北大学　1958～**
  ：本館 2 号館 ほか（分野ごとに各分館でも所蔵）
  東北大学の博士論文の概要を知ることができます。

- **『日本の大学の学位論文を探すサイト』**
  名古屋大学大学院国際開発研究科情報資料室
  <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/service/library/guide/dis.html>
  学位論文を検索できるサイトや論文全文・要旨を公開しているサイトを、大学や学協会ごとに集めたリンク集です。

外国の学位論文を探す場合は、以下のツールが有用です。

- **『NDL-OPAC』　国立国会図書館　<http://opac.ndl.go.jp/>**
  主に科学技術分野の海外博士論文を検索できます。探し方の詳細は、「テーマ別調べ方案内」の「科学技術→博士論文」を参照して下さい。
  <http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/theme_honbun_400041.html>

- **『Yushodo Dessertation Service Center』　雄松堂 1886～**
  <http://www.dissertation-yushodo.jp/>
  北米を中心とした博士論文・修士論文を、タイトル、著者名、分野で検索できます（ProQuest 提供）。複写の取り寄せもできます。

■ 『ProQuest Digital Dissertations』　ProQuest 過去 2 年分
<http://wwwlib.umi.com/dissertations/>
博士論文・修士論文を、最近 2 年分は無料で多角的に検索し、抄録まで見ることができます。Preview マークのあるものは最初の 24 ページまでフルテキストを見ることができます。

■ 『Dissertation express』　ProQuest 1861～
<http://wwwlib.umi.com/dxweb/>
最初に地域や支払い方法などを聞いてきますが、タイトルと著者から無料で検索することができます。1861 年からの学位論文を検索できますが、抄録などは見られません。また、表示は 40 件までとなっています。

■ 『British Library Integrated Catalogue』　英国図書館
<http://catalogue.bl.uk/>
学位論文のみに絞ることはできませんが、イギリス国内の学位論文を検索することができます。複写の取り寄せもできます。

■ 『Networked Digital Library of Theses and Dissertations (NDLTD)』
<http://zippo.vtls.com/cgi-bin/ndltd/chameleon>
アメリカを中心とした、学位論文電子化プロジェクトで作られた総合目録です。参加大学ごとに収録年代・範囲などが違うため、網羅的なものではありません。フルテキストが見られるものもあります。

■ 『Dissertation abstracts international. A, The humanities and social sciences』　ProQuest 1938～：本館 2 号館
この学位論文の抄録誌は各分野ごとに構成されており、Section A が人文社会科学分野となっています。主題と著者名、キーワードから調べられます。

なお、学位論文の内容は、図書や雑誌論文として公開されたり、ウェブ上で著者が無料公開する場合もあります。学位論文を探すツールを検索しても見つからない場合は、著者名や論題で、蔵書検索、二次情報データベース、サーチエンジンを検索してみて下さい。

2.2.5 学会情報を探す

先行研究を探すには学界のトレンドや先輩研究者の専門を知ることも有用です。どんな研究が盛んなのか、どの人がどんな研究をしているのかが分かれば、これまで紹介してきたデータベースを使うときに手がかりとして役に立ちます。以下では学界情報を調べるために、学会誌や会議録を探すツールをご紹介します。なお会議録とは、学会で行われた発表内容や概要をまとめたものです。

(1) 日本の学会情報を探す

- **『ReaD』　科学技術振興機構**　<http://read.jst.go.jp/>
  国内の大学・公的研究機関等に関する機関情報、研究者情報、研究課題情報、研究資源情報を網羅的に収集・提供しているサイトです。研究者・研究機関・研究課題・研究資源から検索することができます。

- **『学協会情報発信サービス』　国立情報学研究所**
  <http://wwwsoc.nii.ac.jp/>
  各学会ホームページへのリンク集です。学協会等の学術研究情報を収集し発信しているサイトです。

- **『J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム)』**
  科学技術振興機構　<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/>
  「予稿集・要旨集」には、会議開催前に公開された発表内容、発表者名、タイトルなどが収録されています。「NII 学会発表 DB」には、日本国内の学協会主催の会議での発表タイトル、発表者名や抄録、それが会議録として刊行された場合の収録誌名と巻号などが採録されています。

- **『国内人文系研究機関 WWW ページリスト』　東北大学文学研究科教授　後藤斉**　<http://www.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/zinbun.html>
  語学、文学、歴史学、哲学、心理学、社会学、行動科学、文化人類学および教育学の人文系分野の研究機関リンク集です。本学の言語学研究室の後藤先生が作成されたサイトです。

■ 『GANET』　ガネット　<http://www.gakkai.net/>
各分野 860 団体の情報が検索できます。(平成 19 年 2 月現在)

■ 『ACADEMIC RESOURCE GUIDE』　岡本真
<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/>
ウェブ上の研究情報についての情報を集めたサイトです。分野別データベースや、研究者個人サイトへのリンクなどがあります。

■ 『日本のシンクタンク情報』　総合研究開発機構
<http://www.nira.go.jp/icj/>
日本のシンクタンクについてのデータベースです。機関情報と研究成果情報を検索できます。なお同ページから、世界のシンクタンクの機関概要、機関が発刊する英文の定期刊行物等に掲載されている論文の書誌情報を検索できる『世界のシンクタンク情報』も利用できます。

■ 各学会誌
学会誌は重要な情報源となります。図書館オンライン目録で所蔵の有無を検索できます。

(2) 外国の学会情報を探す

■ 『Directory of Published Proceedings』　InterDok
<http://interdok.com/>
オンラインデータベースとして世界各国で開催された学会の大会やシンポジウム等の記録を探すことができます。2003 年分までで冊子体は刊行が中止され、ウェブ版が無料公開されています。東北大学では冊子体も所蔵しています。

■ 『Scholarly Societies Project』　University of Waterloo
<http://www.lib.uwaterloo.ca/society/overview.html>
世界の学協会についての情報を検索できるサイトです。キーワード検索の他、分野、国、言語、設立年などからも検索でき、各学会サイトへのリンクもあります。

2.2.6 科学研究費補助金研究成果報告書を探す

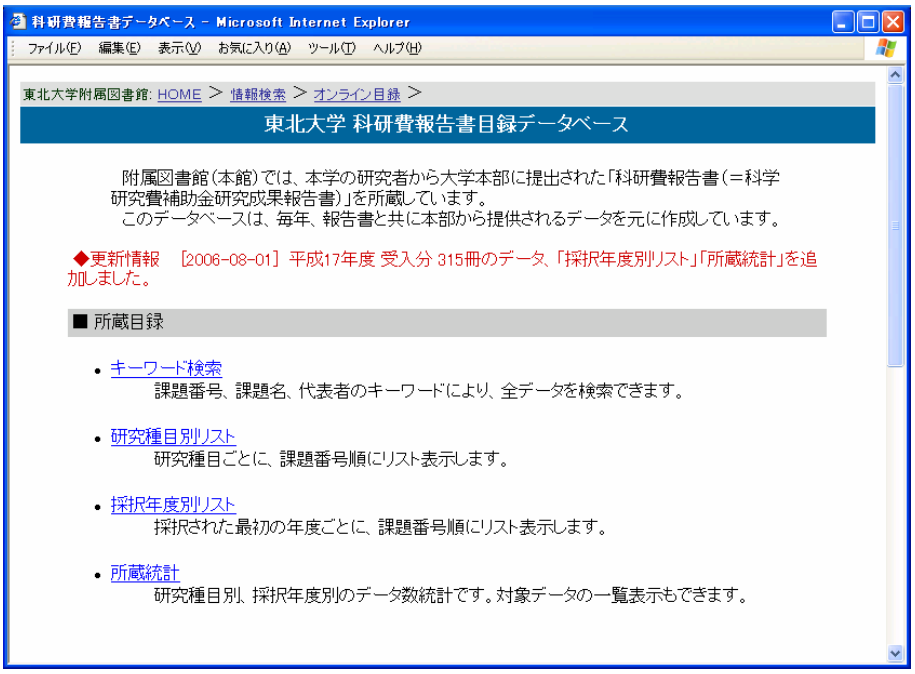
科学研究費補助金研究成果報告書とは、文部科学省と日本学術振興会がピア・レビューによる審査を経て交付する「科学研究費補助金」（科研費）によってなされた研究の成果内容をまとめたものです。採択される研究は独創的・先駆的なものが多く、報告書を調べることで様々な分野の最先端の研究を知ることができます。

報告書の検索には、以下のツールが有用です。

- **『KAKEN：科学研究費補助金データベース』　国立情報学研究所**
  <http://seika.nii.ac.jp/>
  科学研究費補助金により行われた研究の当初採択時のデータ（採択課題）と研究成果の概要（研究実績報告、研究成果概要）を収録しています。報告書の本文を見ることはできません。

報告書の原本は 2 部あり、1 部は研究代表者の所属機関で、もう 1 部は国立国会図書館（関西館）で保管されます。研究代表者の所属機関が東北大学である報告書は、本館 2 号館 1 階で保管しています。次のツールで検索し、課題番号を控えてから、2 号館カウンターにお申し出下さい。

- **『科研費報告書データベース』東北大学附属図書館**
  <http://www2.library.tohoku.ac.jp/kaken/>
  東北大学で所蔵している科研費報告書をキーワード検索できるほか、研究種目別及び採択年度別にリスト表示することができます。また、研究種目別及び採択年度別の所蔵統計も確認できます。



その他の報告書は、『Online Catalog』や『NDL-OPAC』を使って検索し、通常の図書と同様に利用したり、相互利用サービスで入手したりすることができます。ただし、大学によっては登録していない場合もありますので、見つからない場合は、図書館カウンターに問い合わせて下さい。

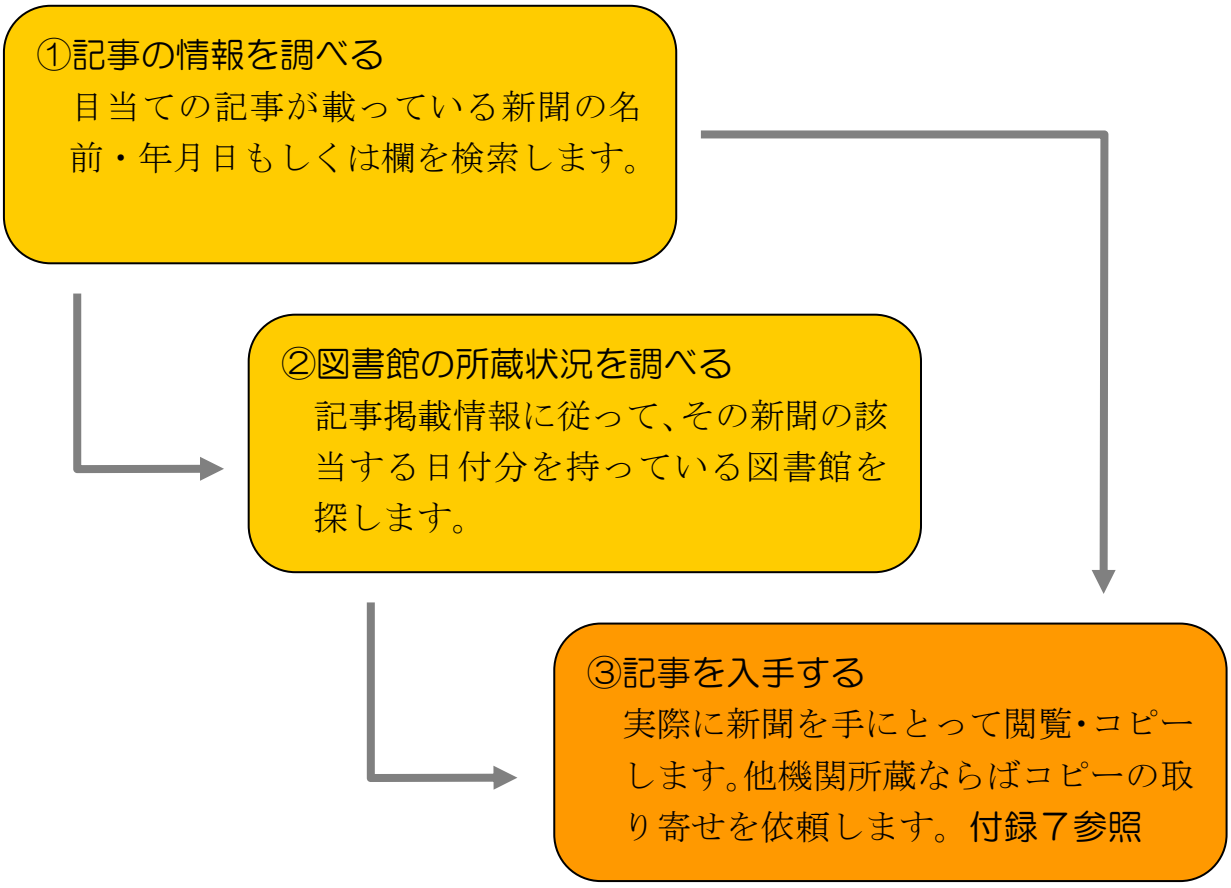
また、報告書の研究内容は、学術雑誌論文として発表される場合もあります。研究課題名や研究者名などをキーワードにして、2.2.1 や 2.2.2 で紹介したデータベースも検索してみて下さい。

2.2.7 新聞を探す

新聞記事には、事件・事故・政治・経済・文化など、この世のあらゆる情報が詰まっています。また、情報の新鮮さもさることながら、昔の新聞を見れば当時の社会状況を知ることができます。しかし、その有益さの一方で、数も膨大ですから目当ての記事を探し出すにはツールと工夫が必要です。そこで以下では、新聞記事の探し方を紹介していきます。なお、『基本編』第５章に、詳しい解説がありますので、そちらも併せてご覧下さい。

（1）新聞記事入手までの基本的な流れ

基本的には雑誌論文入手の方法と変わりありません。下の図のような流れです。なお、新聞記事検索ツールは本文を見られる場合が多いので**①記事の情報を調べる**から**③記事を入手する**まで一息に進むことがあります。



図表 2-8　新聞記事入手の流れ

(2) 記事の情報を調べる

① 日本語の新聞の記事を探す

■ 朝日新聞の記事を探す

♦ 『朝日新聞記事総覧』 大正前期編，大正編，昭和編，平成編 1985～1999：本館 RC

東北大学所蔵分では大正 8 年（1919）8 月 15 日から平成 4 年（1992）12 月までの記事を探すことができます。冊子体です。

♦ 『聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries』 朝日新聞社

<http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/dna/>

学内限定（同時アクセス 3）

オンラインの記事データベースです。昭和 59 年（1984）8 月以降の本紙掲載記事の検索、閲覧に加え、昭和 20 年（1945）から昭和 59 年までの縮刷版を検索し、画像で見ることができます。同社発行の週刊誌『AERA』、『週刊朝日』の記事も収録されています。なお一部閲覧できない記事があります。

■ 読売新聞の記事を探す

♦ 『読売ニュース総覧』 読売新聞社 1980～1994：法図書室

総索引。抄録付きです。

♦ 『明治の讀賣新聞』 読売新聞社 1874～1912：本館 RC

♦ 『大正の讀賣新聞』 読売新聞社 1912～1926：本館 RC

♦ 『昭和の讀賣新聞：戦前 1』 読売新聞社 1926～1936：本館 RC

CD-ROM 版です。本紙をそのまま画像データベースとしてあるので、検索と本文閲覧ができます。

■ 日本経済新聞の記事を探す

♦ 『日経テレコン 21』 日本経済新聞社

<http://telecom21.nikkei.co.jp/> 有料：本館 RC

全国紙・地方紙を含め、多数の新聞を横断検索できます。ただし収録年はそれぞれ異なります。利用は図書館員による代行検索となります。

- **『日経全文記事データベース』　日本経済新聞社　1990～：本館 RC**
  日本経済新聞の記事本文を収録し、1 年分が CD-ROM1 枚になっています。ただし、写真や図表などは収録していません。

■ **毎日新聞の記事を探す**

- **『毎日ニュース事典』　全 8 巻　毎日新聞社　1973～1980**
  ：本館 RC[UP58/04]
  昭和 48 年（1973）から昭和 55 年（1980）までの総索引。抄録付き。

■ **河北新報の記事を探す**

- **『ＫＤ（カーデー）河北新報データベース』　河北新報社**
  <http://www.library.tohoku.ac.jp/dbsi/kd/>
  学内限定（同時アクセス 5）
  平成 3 年（1991）8 月以降の河北新報掲載記事、図表が検索・閲覧可能です。そのほか、戦後東北の選挙記録を収録した選挙データベースなども収録されています。

■ **明治・大正・昭和時代の新聞記事を探す**

- **『明治ニュース事典』　明治ニュース事典編纂委員会、毎日コミュニケーションズ出版部編集制作　1983～1986：本館 RC[GB8/058]**
  当時の主な新聞などから記事を検索できます。事項別、分類別、年次別の索引があります。同様の**『大正ニュース事典』、『昭和ニュース事典』**もあります。

- **『新聞集成明治編年史』　財政経済学会　1934～1936：本館書庫[IIIA3-11/メ 1]**
  当時の主要な新聞記事を集めた集成版です。同様の**『新聞集録大正史』**や、**『新聞集成昭和史の証言』**などもあります。

- **『神戸大学新聞記事文庫』　神戸大学附属図書館**
  <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/index.html>
  神戸大学経済経営研究所によって作成された明治末から昭和 45 年（1970）までの新聞切抜資料を収集整理した新聞記事文庫のデータベースです。データ収録範囲は経営・経済を主としつつ、社会・政治外

交・法制・教育なども含まれています。切り抜き記事の画像・テキスト両データを検索、閲覧することができます。平成 19 年 2 月現在も作成中です。

■ **検索ツールのない新聞の記事を探す**

記事索引などのツールが無い新聞や、ツールがあっても探したい年代を収録対象としていない場合には、探している出来事の起こった年月日を頼りに、その日付の新聞を探します。年月日の探し方は次の方法が考えられます。

・朝日新聞など、古い索引の作られている新聞を利用して、探している事件の日付を探す。
・歴史事典・百科事典などで日付を探す。

それでも見つからないときには図書館へ問い合わせて下さい。

② 外国語の新聞記事を探す

■ 『The Times Digital Archive』 1785～1985 Thomson Gale
<http://infotrac.galegroup.com/itweb/tohoku/> **学内限定**

『The Times』の 1785 年から 1985 年までの記事がオンラインで検索、閲覧できます。

■ 『New York Times』 The New York Times
<http://query.nytimes.com/search/advanced/>

創刊年から見出しを無料で検索できます。本館書庫には、本紙マイクロフィルム版（1851-1982、1990）と索引（1851～1982）も所蔵しています。

■ 『Washington Post』 The Washington Post
<http://www.washingtonpost.com/wp-adv/archives/>

1877 年以降の記事検索が可能です。

■ **『日本語で読む中東メディア』 東京外国語大学中東イスラーム研究教育プロジェクト** <http://www.el.tufs.ac.jp/prmeis/news_j.html>

2005 年から 2007 年までの、中東諸国で発行されている新聞のインターネット版記事の一部が和訳され紹介されています。検索は、新聞紙名、ジャンル、時期の 3 つを指定できます。

■ **外国語の新聞を探すときに役立つサイト**

- **『インターネットで文献探索』（第 4 章　新聞･雑誌記事･論文検索）実践女子大学図書館**
  <http://www.jissen.ac.jp/library/frame/chap4.htm>
  代表的な海外新聞社のウェブサイトへのリンク集があります。

- **『テーマ別調べ方案内　各国の代表的な新聞』　国立国会図書館**
  <http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/theme_honbun_700015.html>
  海外新聞の情報探索をするための冊子体資料とウェブサイトのリンクが紹介されています。

(3) 所蔵状況の確認と入手

新聞の所蔵を探す手順は、基本的に図書・雑誌の探し方と同様です。まず、学内外のオンライン目録で探して下さい。古い新聞の場合、オリジナルのままで所蔵されているものの他に、縮刷版、復刻版等で所蔵されているものがあります。それらは索引がついており、検索、通覧するときに便利です。なお、新聞はオンライン目録で所蔵を確認できないことが少なくないので、冊子体や専門のツールを使った調査が必要です。最新の新聞本紙の所蔵については、図書館カウンターに問い合わせて下さい。

■ **『全国新聞総合目録データベース』　国立国会図書館**
<http://sinbun.ndl.go.jp/>
国内の公共図書館、大学図書館、地方公共団体などの所蔵を確認できます。マイクロフィッシュや縮刷版、復刻版、電子資料まで収録しています。冊子版である**『全国複製新聞所蔵一覧』**（平成 5 年 7 月 1 日時点での所蔵情報を収載）は本館 RC で所蔵しています。

■ **『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞目録』　東京大学法学部明治新聞雑誌文庫編　東京大学出版会　1977：本館書庫 [UP15/024]**
明治新聞雑誌文庫の昭和 52 年（1977）時点での、新聞所蔵についての目録です。この文庫は、様々な滑稽・風刺の雑誌、図書を執筆刊行した宮武外骨収集の新聞、雑誌、図書に、明治の文献収集でも知られた吉野作造収集の雑誌をあわせたコレクションとして発足し、今現在も収集を続けています。

■ 『東北地区大学図書館所蔵新聞目録』　第 2 版　東北地区大学図書館協議会編　1987：本館 RC

■ 東北大学所蔵の復刻版新聞

東北大学が所蔵する今現在発行されていない新聞の一覧は次の通りです。

タイトル	形態	発行年
The Manchester Mercury and Tuesday's general advertiser	マイクロ	1752～1830
Neue Rheinische Zeitung	複製版	1848.6～1849.5
L' Unita	縮刷版	1924.1～1926.12
Vorwarts／Berliner Volksblatt	マイクロ	1904.11～1906.2
東京横浜毎日新聞	復刻版	明 12.11.18 明 19.4.30
東洋自由新聞	複製版	明 14.3.18～明 14.4.30
自由新聞	マイクロ	明 15.6～明 17.12
自由新聞	マイクロ	明 23.10.20～明 24.3.31
自由	マイクロ	明 24.4.22～明 26.6.30
自由新聞	マイクロ	明 26.7.1～明 29.3
自由灯	マイクロ	明 17.5.11～明 19.1.13
灯新聞	マイクロ	明 19.1.14～明 20.2.15
めさまし新聞	マイクロ	明 20.4～明 21.7
めさまし新聞	マイクロ	明 26.11～明 28.12
日本	マイクロ	明 22.2～大 3.12
国会	マイクロ	明 23.11～明 28.12
あづま新聞	マイクロ	明 23.12.13 明 24.11.14
国民新聞	マイクロ	明 23.2～昭 5.7
新東洋	マイクロ	明 25.10～明 26.1
横浜毎日新聞	復刻版	明 3.12～明 12.11
日刊人民	マイクロ	明 31.10.19～明 34.12.31
人民	マイクロ	明 35.1.1～明 38.10.17
福音新報	マイクロ	明 36～大 4
人民新聞	マイクロ	明 38.10.18～明 40.8.28
新聞雑誌	マイクロ	明 4.5～明 7.12

図表 2-9　東北大学所蔵復刻版新聞リスト

(4) ウェブ上のニュース

世界中のマスコミ各社、総合的な情報を扱うサイト（ポータルサイト）で最新のニュースが配信されています。それらを利用すれば全世界の最新のニュースが簡単に入手できます。

なお、新聞社によってはウェブサイト上で新聞記事を検索できる場合がありますがそれを利用する場合は、検索対象がウェブ版の記事なのか、あるいは本紙印刷版の記事なのかを確認して下さい。ウェブサイトに掲載されている記事が本紙にも掲載されている場合は、その掲載日付や朝刊／夕刊の別などが記載されています。多くの場合、ウェブ上のニュースは随時更新され見られなくなっていきますので、後から再度本紙で確認する必要が出てくることに備えて、興味のある記事については本紙掲載に関する事項を確認しておくことも大切です。

2.2.8 一般雑誌の記事を探す

学術雑誌と同様に一般雑誌の記事を探すにも「記事索引」や「総目次」というタイトルを冠するツールを使うと便利です。このような検索ツールは媒体（メディア）を問わず数多く作られていますので､図書館やインターネットで探してみて下さい。ここでは、まず一般雑誌記事の特徴について簡単に説明した上で、具体的なツールを紹介します。

（1）一般雑誌記事の特徴

一般雑誌記事が学術論文と異なる特徴として以下の 3 点を挙げることができます。

- 時事的な事柄が掲載される。
- 分野にとらわれない大小様々なテーマが取り上げられる。
- 査読がなく、著者の思想や雑誌の編集方針、その時代の世論などが強く反映される。

以上の点においては新聞記事の特徴と似ていますが（『基本編』5.1 参照)、例えば事件については、速報性を旨とする新聞よりも時間をかけて執筆されている分、事件の周辺情報や後日譚について取材がされ、より詳しい内容となっています。また、学術論文では等閑視されがちな、日常生活に密着した些細な事実が取り上げられる事も多いので、歴史としては語られないものの、確かに存在した時代の雰囲気が誌面につまっていると言えます。

記事一つを取り上げて、それを根拠とした論理を展開させるのは無理がありますが、同じ事実を扱った他の記事を多く集めることで、その事実を多面的に捉えることができるでしょう。また、バックナンバー（過去の号）を利用すれば、事実確認のみならず、時代を振り返ることができます。例えばある学術論文の書かれた社会的な背景や、作家の著書からは分からない著者の風貌を知りたいときなどに、一般雑誌、特にそのバックナンバーは大変役に立つはずです。

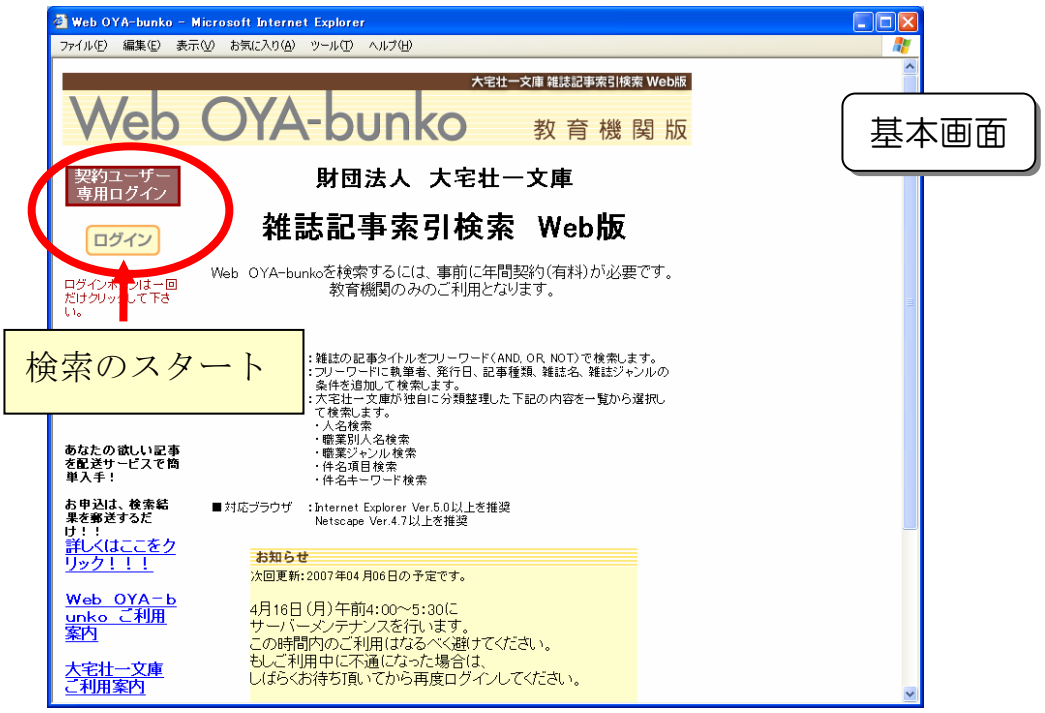
なお特徴として雑誌の記事が世論の影響を受けやすいことを挙げましたが、逆に雑誌記事が世論や流行を作ることも少なくありません。例えば一般雑誌に載った一つの記事が政治家を辞職に追い込むきっかけになることがあります。

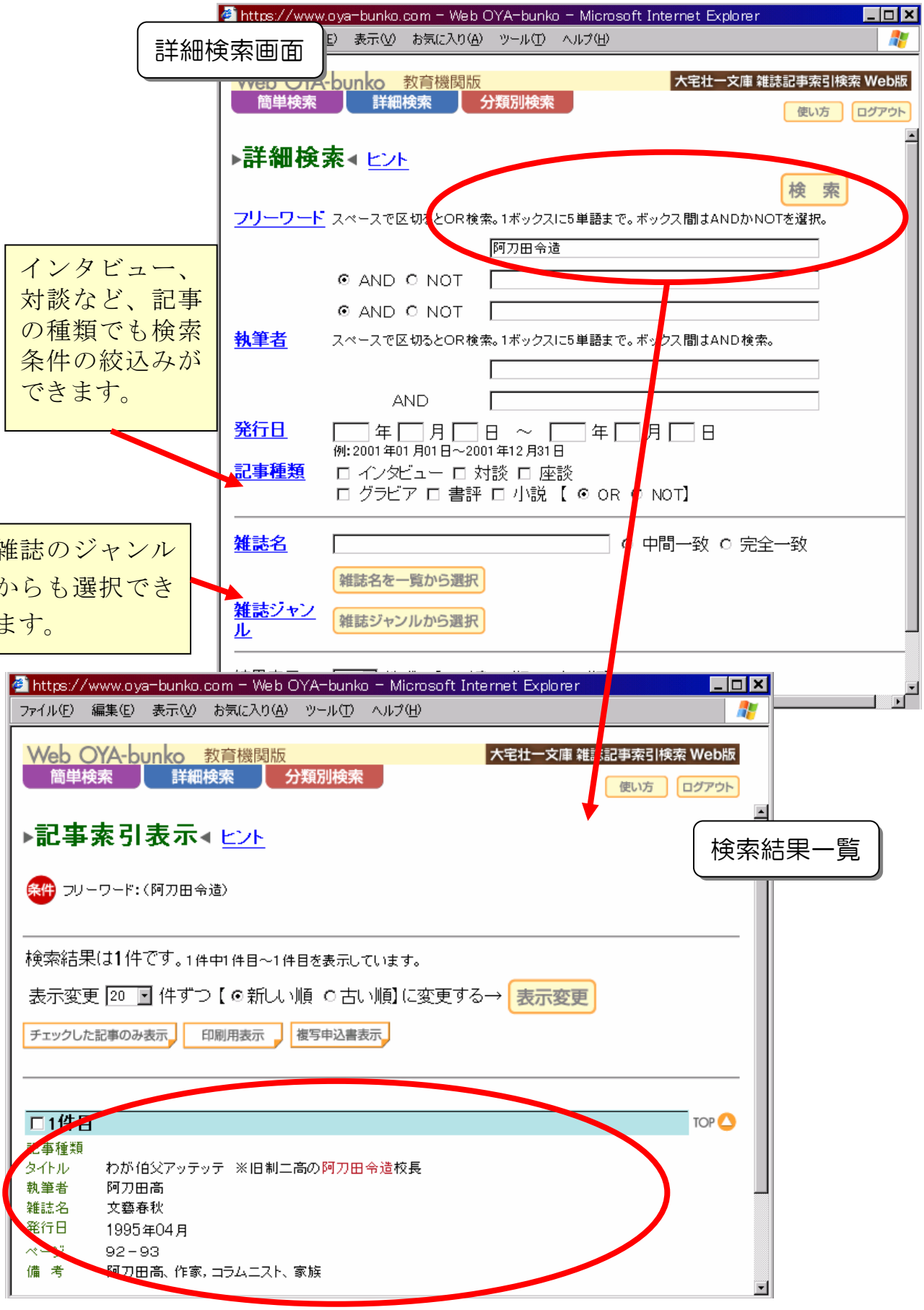
(2)『大宅壮一文庫雑誌記事索引』

大宅壮一文庫とは、昭和の名ジャーナリスト故大宅壮一氏の蒐集した雑誌を核に発展してきた私文庫で、図書館やアカデミズムが顧みない一般雑誌の一大コレクションとして高名です。継続・一括して集められることが少ない週刊誌・総合誌・女性誌などの一般雑誌の貴重性・重要性に気がついた大宅がコレクションを始め、それが整理、公開されて、今では作家、マスコミ関係者や研究者に無二の情報源として珍重されるようになりました。

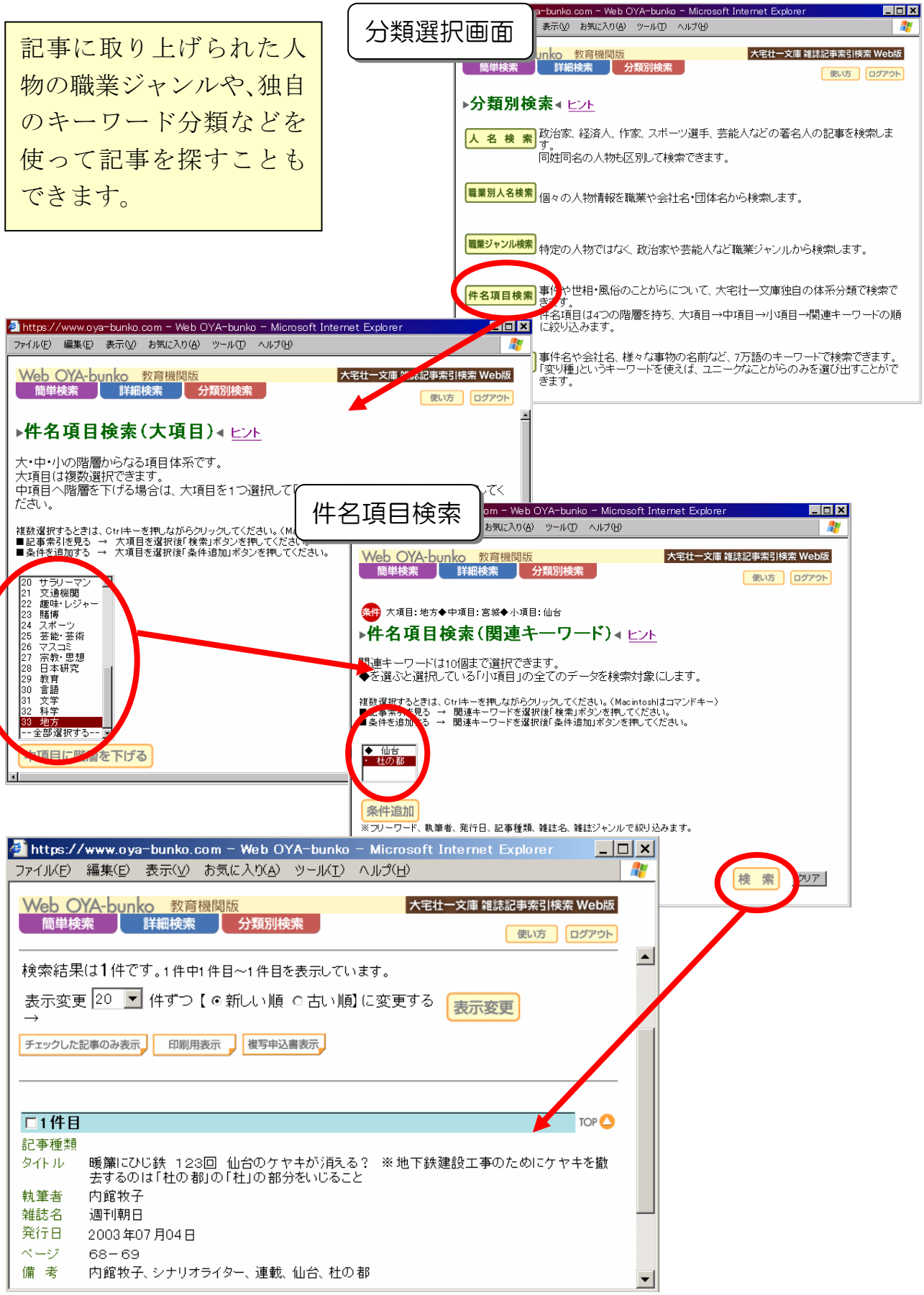
そして同文庫収蔵雑誌を元に記事を検索できる記事索引が作成され、冊子体版、CD-ROM 版、ウェブ版があります。ここではウェブ版を解説します。

項目	内容説明
分野	全分野
提供機関	大宅壮一文庫
収録対象	一般雑誌
範囲	1988 年～
URL	http://www.oya-bunko.com/
利用方法	学内のパソコンから（附属図書館ホームページからリンクあり）
備考	学内限定（同時アクセス１） CD-ROM 版（1992～2000)、冊子体版(明治～1995)　本館 RC




詳細検索画面
インタビュー、対談など、記事の種類でも検索条件の絞込みができます。
雑誌のジャンルからも選択できます。
検索結果一覧
https://www.oya-bunko.com - Web OYA-bunko - Microsoft Internet Explorer
Web OYA-bunko 教育機関版
大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索 Web版
簡単検索
詳細検索
分類別検索
使い方
ログアウト
詳細検索
ヒント
検索
フリーワード
スペースで区切るとOR検索。1ボックスに5単語まで。ボックス間はANDかNOTを選択。
阿刀田令造
AND NOT
執筆者
スペースで区切るとOR検索。1ボックスに5単語まで。ボックス間はAND検索。
発行日
例:2001年01月01日～2001年12月31日
記事種類
インタビュー 対談 座談
グラビア 書評 小説 【 OR NOT】
雑誌名
中間一致 完全一致
雑誌名を一覧から選択
雑誌ジャンル
雑誌ジャンルから選択
https://www.oya-bunko.com - Web OYA-bunko - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
Web OYA-bunko 教育機関版
大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索 Web版
簡単検索
詳細検索
分類別検索
使い方
ログアウト
記事索引表示
ヒント
条件 フリーワード:(阿刀田令造)
検索結果は1件です。1件中1件目～1件目を表示しています。
表示変更 20 件ずつ【 新しい順 古い順】に変更する→
表示変更
チェックした記事のみ表示
印刷用表示
複写申込書表示
1件目
TOP
記事種類
タイトル わが伯父アッテッテ ※旧制二高の阿刀田令造校長
執筆者 阿刀田高
雑誌名 文藝春秋
発行日 1995年04月
ページ 92－93
備 考 阿刀田高、作家，コラムニスト、家族

記事に取り上げられた人物の職業ジャンルや、独自のキーワード分類などを使って記事を探すこともできます。



(3)『占領期雑誌記事情報データベース』

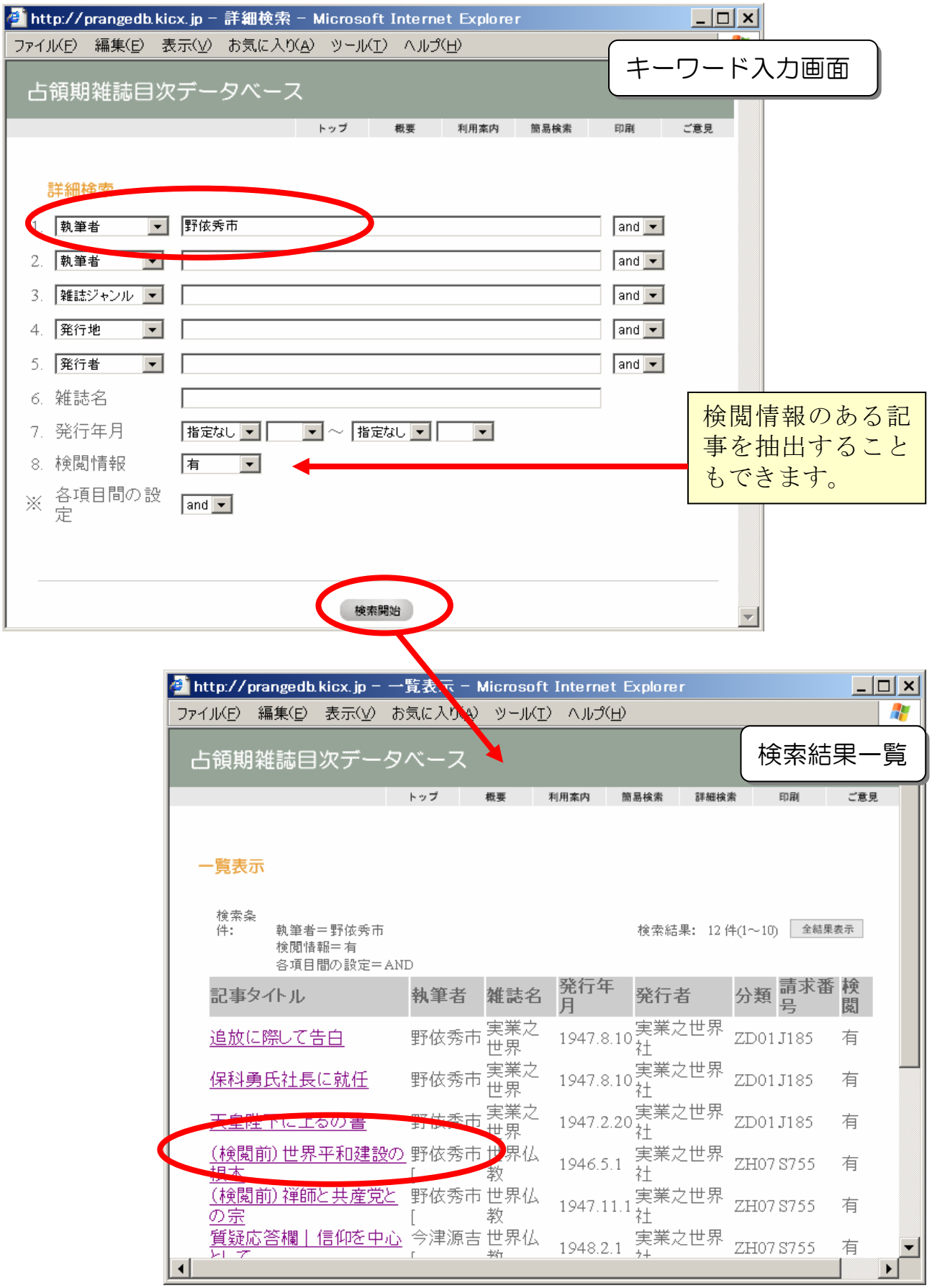
占領期日本の雑誌、新聞、図書のコレクションであるプランゲ文庫(米国メリーランド大学所蔵、<http://www.lib.umd.edu/prange/>の全雑誌情報が、占領期雑誌記事情報データベース化プロジェクト委員会（代表・山本武利氏）によりデータベース化されたものです。(データベース化作業は平成 19 年現在も継続中）初めて利用する際には利用者登録（無料）をして下さい。

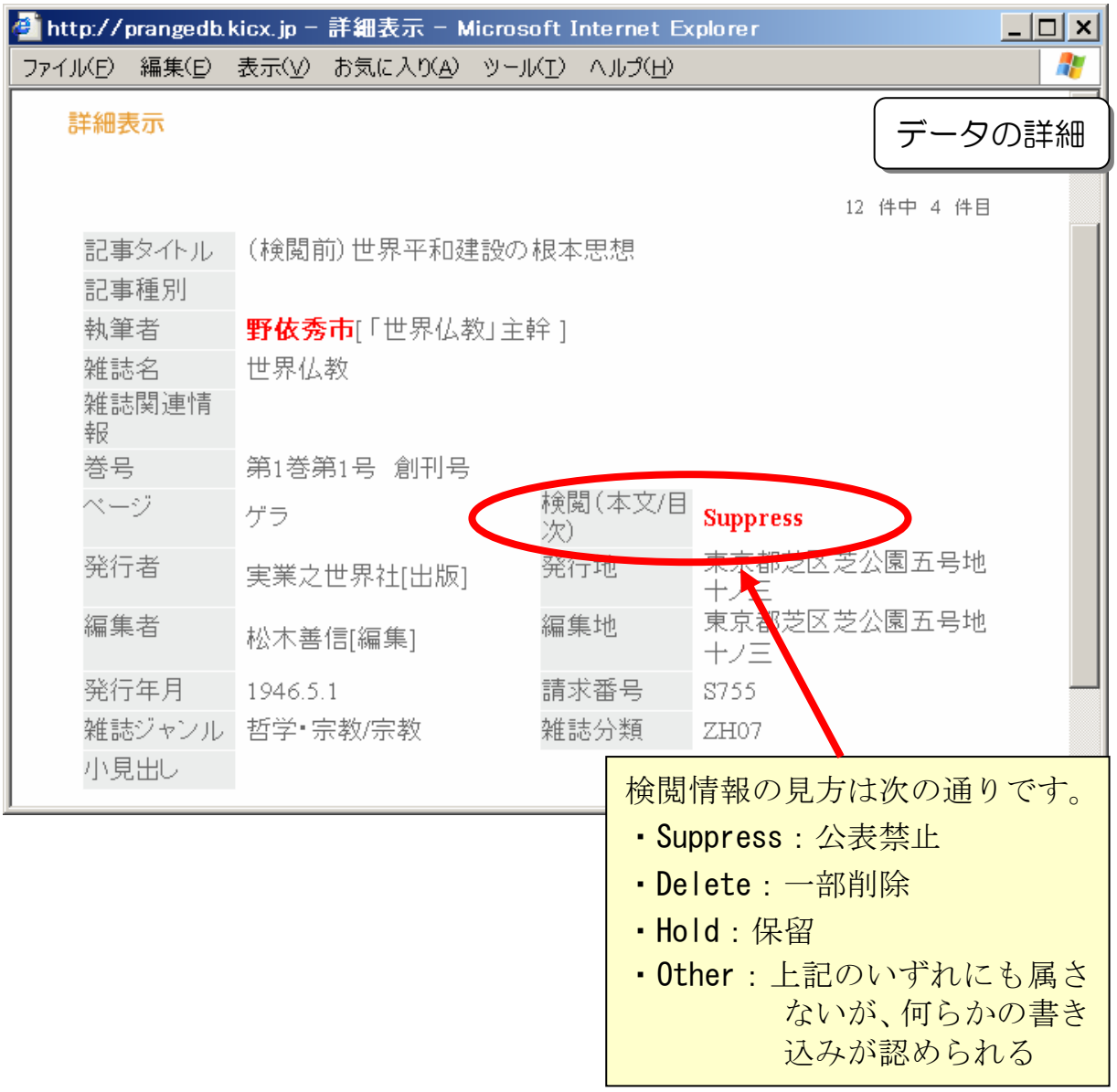
データ収録された雑誌の発行期間は昭和 20 年（1945）～昭和 24 年（1949）と短期間ながら、政治・経済・芸術・科学・児童雑誌まで、あらゆる分野の雑誌が含まれているので、例えば、一つのキーワードを元に検索した記事タイトルを通覧するだけでも当時の空気を感じることができるでしょう。また、日本では所蔵されていない雑誌のデータも含まれているので、その点でも大変貴重なコレクションのデータベースです。

さらに、データベースの出自から当然なのですが、このデータベースの特徴として、検閲情報が収録されていることもあげられます。

なお、データベース作成者より次の点に注意するよう指示がされています。**「データベースを利用した成果を発表する際に、“占領期雑誌記事情報データベース化プロジェクト委員会（代表・山本武利）作成「占領期雑誌記事情報データベース」を参照”と明記して下さい。」**必ず守りましょう。

項目	内容説明
分野	全分野
提供機関	占領期メディアデーターベース化プロジェクト委員会
収録対象	全雑誌
範囲	1945 年～1949 年
URL	http://prangedb.kicx.jp/
利用方法	インターネットを使えるパソコンで上記 URL へアクセス
備考	事前の登録（無料）が必要


http://prangedb.kicx.jp – 詳細検索 – Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
キーワード入力画面
占領期雑誌目次データベース
トップ 概要 利用案内 簡易検索 印刷 ご意見
詳細検索
1. 執筆者 野依秀市 and
2. 執筆者 and
3. 雑誌ジャンル and
4. 発行地 and
5. 発行者 and
6. 雑誌名
7. 発行年月 指定なし ～ 指定なし
8. 検閲情報 有
※ 各項目間の設定 and
検閲情報のある記事を抽出することもできます。
検索開始
http://prangedb.kicx.jp – 一覧表示 – Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
検索結果一覧
占領期雑誌目次データベース
トップ 概要 利用案内 簡易検索 詳細検索 印刷 ご意見
一覧表示
検索条件: 執筆者＝野依秀市
検閲情報＝有
各項目間の設定＝AND
検索結果: 12 件(1～10) 全結果表示
記事タイトル 執筆者 雑誌名 発行年月 発行者 分類 請求番号 検閲
追放に際して告白 野依秀市 実業之世界 1947.8.10 実業之世界社 ZD01 J185 有
保科勇氏社長に就任 野依秀市 実業之世界 1947.8.10 実業之世界社 ZD01 J185 有
天皇陛下に上るの書 野依秀市 実業之世界 1947.2.20 実業之世界社 ZD01 J185 有
(検閲前) 世界平和建設の根本 野依秀市 世界仏教 1946.5.1 実業之世界社 ZH07 S755 有
(検閲前) 禅師と共産党との宗 野依秀市 世界仏教 1947.11.1 実業之世界社 ZH07 S755 有
質疑応答欄 | 信仰を中心として 今津源吉 世界仏教 1948.2.1 実業之世界社 ZH07 S755 有



なお、一般雑誌の記事検索ツールは紹介した 2 つ以外にもあります。例えば本書 2.2.2 で紹介した『MAGAZINEPLUS』『CiNii』『明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成』そして国立国会図書館の『NDL-OPAC 雑誌記事索引』（『基本編』4.3.1(1)参照）でも検索ができる場合があります。

また付録４で紹介する古書店のデータベースや目録でも雑誌の記事が見つかることがあります。雑誌はタイトルや巻号を表示するだけでは売れ難いので、名のある作家が書いている場合などは、そのことを表示して買う側が魅力を感じるような記述にしています。

みみふくろ　ツールの併用

国立国会図書館の『NDL-OPAC 雑誌記事索引』（以下『雑索』）と、最後に紹介した『占領期雑誌記事情報データベース』（以下『占領期』）の 2 つの雑誌記事データベースで同じキーワードを使って検索するとどうなるでしょうか。

試しに「岸信介」をタイトルに含む雑誌記事を検索してみますと、『雑索』では 143 件（平成 19 年 2 月現在）ヒットし、最も古い記事が昭和 27 年です。一方の『占領期』ではヒットが 1 件のみ（平成 19 年 2 月現在）ですが、その記事は昭和 21 年のものです。ここから、両データベースの収録範囲が異なるとわかります。

さらに『雑索』の検索結果の 2 番目に古い記事（昭和 28 年）のタイトルは「惑星岸信介大いに語る、政界の清涼剤(対談)」であるのに対し、『占領期』の検索結果は「戦犯容疑者名簿(一)」ですから、だいぶ趣が異なっています。

このように、同じキーワードで検索するにしても、両データベースを併用すればお互いに補完しあうとともに、別の事柄も見えてきそうです。もちろんこれは例に挙げたツール同士に限ったことではありません。各種ツールを併用して、色々なアイディアを発掘・発見して下さい。

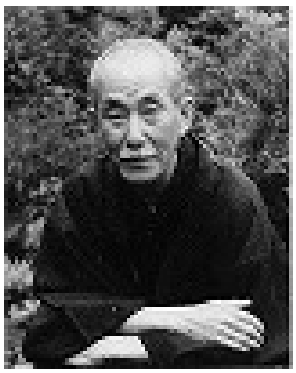
図書館の小ネタ

漱石文庫と仙台（その１）

皆さんもよくご存知の夏目漱石ですが、彼は生粋の江戸っ子で、仙台に在住したことはありません。では何故、東北大学の附属図書館に彼の遺品が収蔵されているのでしょう？

これは、附属図書館の第5代館長である小宮豊隆先生の縁によるものです。先生は夏目漱石氏の高弟で遺族からも信頼が厚かったため、漱石氏の遺品の落ち着き先を任されます。

先生はこれらの夏目漱石関係資料をできるだけ研究を志す人々に役立つように、まず「漱石博物館」というようなものを作ろうとしますが、時に日本は太平洋戦争まっただ中で、そのような施設を建設している場合ではありませんでした。そこで次に考えたのが東京大学（当時は東京帝国大学）の図書館です。東京大学附属図書館に移管してしまえば、何と言っても漱石の母校であるし、東京から離れなくて良いという事で利点があります。しかし、東京大学附属図書館に置いた場合、分類毎にコレクションを分散させるというので、小宮先生は頭を抱えてしまいます。やはり漱石の遺品は一カ所でまとまったコレクションとして展示するのが、望ましい訳です。さて小宮先生はその後どうしたでしょうか？（その２　p.112　に続く）



小宮豊隆
（東北大学史料館提供）